

# R元年度 高校改革アンケート 調査結果報告

令和2年3月  
高校改革・特別支援教育課

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	2
II	調査結果	4
1	全県一学区制度について	5
2	前期募集制度について	7
①	前期募集の評価	7
②	前期募集を評価する理由	9
③	前期募集を評価しない理由	11
④	前期募集の募集率	12
⑤	前期募集への出願	13
⑥	前期募集の準備期間	14
⑦	前期募集の出願理由	15
⑧	前期募集の不出願理由	16
⑨	前期募集の実施時期	17
3	学校選択・高校生活等について	18
①	公立高校選択の理由	18
②	学校選択の理由	19
③	学校選びの参考	22
④	生徒の通学時間	23
⑤	高校卒業後の希望	25
⑥	高校卒業後・進学後の就職地の希望	26
⑦	高校に関して知りたい情報	27
⑧	高校の満足度	28
⑨	地域の高校の満足度・特色ほか	32
⑩	高校に関する情報	33
4	魅力ある高校づくりについて	34
①	今後必要となる学校について	34
②	多様なニーズへの対応	35
③	日本語が苦手な外国籍生徒への対応	36
④	設置を希望する学科	37
⑤	公立高校に求める施設や設備	39
⑥	高校と地域との関わり	41
⑦	今後の地域との連携・協働	42

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

県内の中学生、高校生、保護者並びに中学及び高校の教員の入試制度や公立高校に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得る。

## 2. 調査対象

- (1) 中学3年生 全県から地域の偏りなく抽出した中学校(34校)の1学級の生徒全員
- (2) 高校1年生 県立高校(全日制27校及び定時制7校)及び甲府商業高校の1学級の生徒全員
- (3) 保護者 (1)及び(2)の保護者
- (4) 教員 (1)の中学校及び(2)の高校の全学年全クラス担任

## 3. 調査方法

各学校を通じて調査票を配付の上実施

## 4. 調査時期

令和元年12月

## 5. 回収結果

調査対象者	対象数(人)	回収数(人)	回収率
中3生徒	943	937	99.4%
中3保護者	942	903	95.9%
中学校教員	356	353	99.2%
高1生徒	1,099	1,099	100.0%
高1保護者	1,099	1,080	98.3%
高校教員	539	539	100.0%
合計	4,978	4,911	98.7%

### 参考

(1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問において、全体の傾向を示し、必要に応じて次のとおり分析を行った。

- 経年 昨年度以前の本調査との比較
- 調査対象者別 その設問に回答した調査対象者ごとに分析
- 学科別 学科ごとに分析
- 居住地別 生徒の居住地域ごとに分析
- 地域別 学校所在地域ごとに分析

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 入学者選抜制度について

#### ① 全県一学区制度

肯定的な回答が78.3%であり、過去5年の推移は、肯定的な回答が80%弱で推移しており、同制度の評価は良好である。

### 2 前期募集制度について

#### ① 前期募集制度

肯定的な回答が70.4%であり、過去5年の推移は、肯定的な回答が上昇傾向である。

#### ② 前期募集を評価する主な理由と評価しない主な理由

前期募集を評価する理由としては「中学校時代の様々な学校生活への評価される」を挙げた者が56.3%と最も多い。

前期募集を評価しない理由としては「入試は学力検査を行うべき」を挙げた者が43.7%と最も多い

#### ③ 前期募集への出願とその理由

出願予定の中3生徒が32.4%、出願した高1生徒が31.8%と概ね3割強である。中3生徒の出願の過去5年の推移は、やや下降気味である。

また、中3生徒の出願の理由としては、「どうしても入学したい(29.1%)」「出願条件が当てはまる(27.5%)」が多い。

### 3 学校選択・高校生活等について

#### ① 公立高校選択の理由

高1生徒の公立高校選択の理由は「進学実績(28.4%)」「雰囲気やイメージ(18.4%)」が多い。

#### ② 学校選択の理由

高1生徒の学校選択の理由は「学力レベル(25.5%)」「通学が便利(13.4%)」が多い。

中3生徒では、「学力レベル(25.9%)」「学校の雰囲気(16.6%)」が多い。

#### ① 公立高校選択の理由

高1生徒の公立高校選択の理由は「進学実績(28.4%)」「雰囲気やイメージ(18.4%)」が多い。

### ③ 学校選びの参考

中3生徒、高1生徒ともに、「オープンスクール・学校説明会(中3:44.7%、高1:37.4%)」が最も多い。

### ④ 高校卒業後の希望

中3生徒の高校卒業後の進路希望は、「大学・短大進学(55.0%)」と最も多い。

### ⑤ 高校卒業後・進学後の就職地の希望

中3生徒では、「山梨県内(28.1%)」「山梨県外(32.2%)」である。

高1生徒では、「山梨県内(31.9%)」「山梨県外(34.9%)」である。

中3生徒、高1生徒ともに、まだ考えていない生徒が3割を超える。

### ⑥ 高校の満足度

高1生徒では、「満足・ある程度満足(87.7%)」であり、高1の保護者では、「満足・ある程度満足(92.0%)」である。

## 4 魅力ある高校づくりについて

### ① 今後必要となる学校

「総合制高校(31.4%)」「連携型中高一貫教育校(15.9%)」「併設型中高一貫教育校等(12.9%)」が多い。

### ② 多様なニーズへの対応、日本語が苦手な外国籍生徒への対応

ともに、「対応するためのクラスやコースの設置(多様なニーズ:41.4%、日本語が苦手...:48.8%)」が多い。

### ③ 設置を希望する学科

中3生徒では、「体育系(19.4%)」「情報系(13.1%)」「看護系(13.1%)」が多い。

中3保護者では、「福祉系(18.5%)」「情報系(16.5%)」「看護系(16.2%)」が多い。

## Ⅲ 調査結果

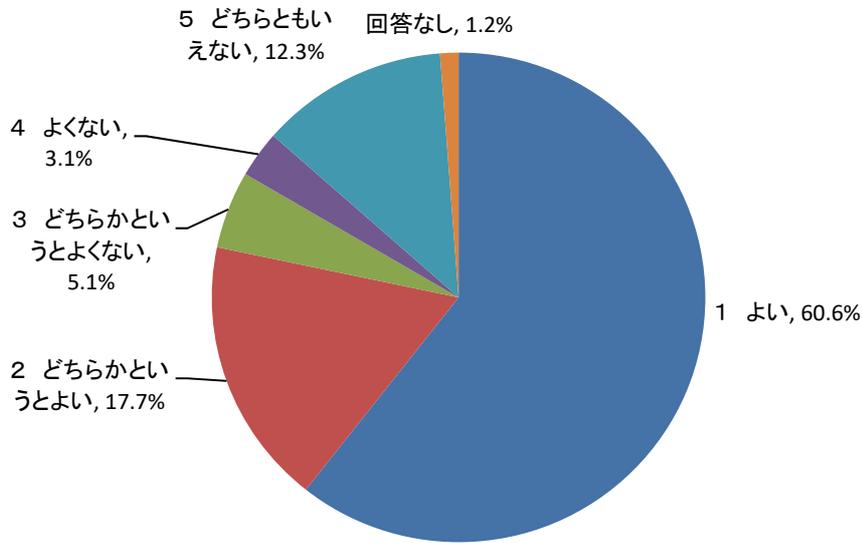
# 1 全県一学区制度について

【全調査対象者】

平成19年度入試より導入された全県一学区制度について、どのように考えるかを尋ねた。

(質問) 公立高校の入試は、県内どこからでも志願できる全県一学区制となっています。この制度についてどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

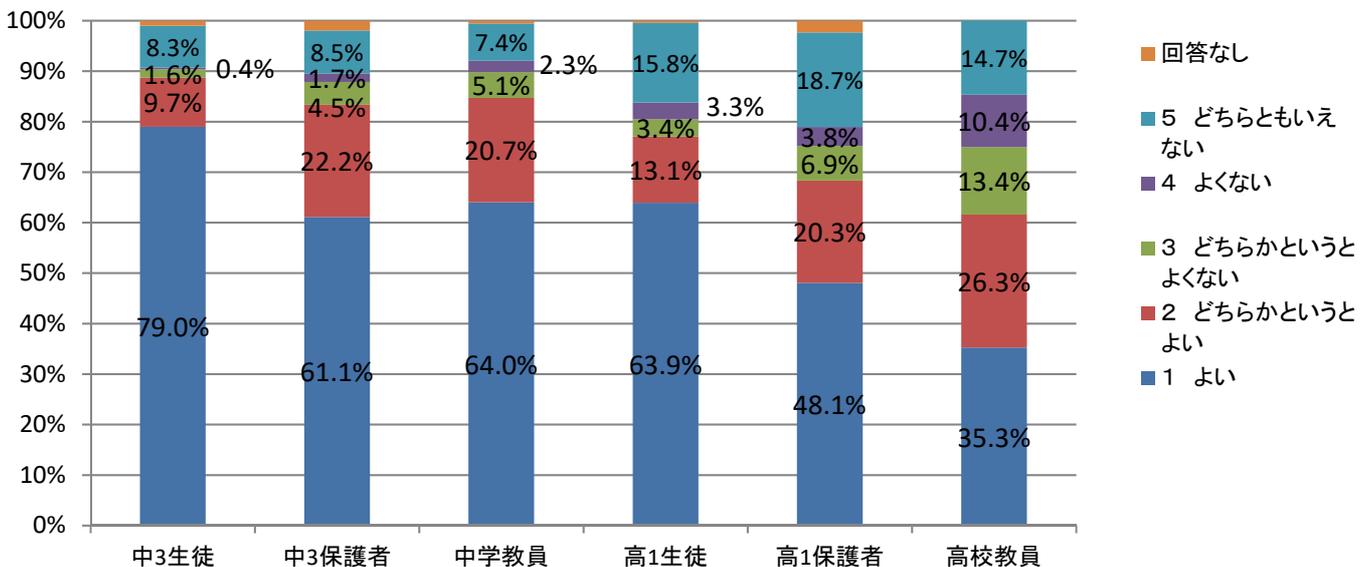
- 1 よい
- 2 どちらかというとい
- 3 どちらかというとい
- 4 よくない
- 5 どちらともいえない



【回答数:4911】

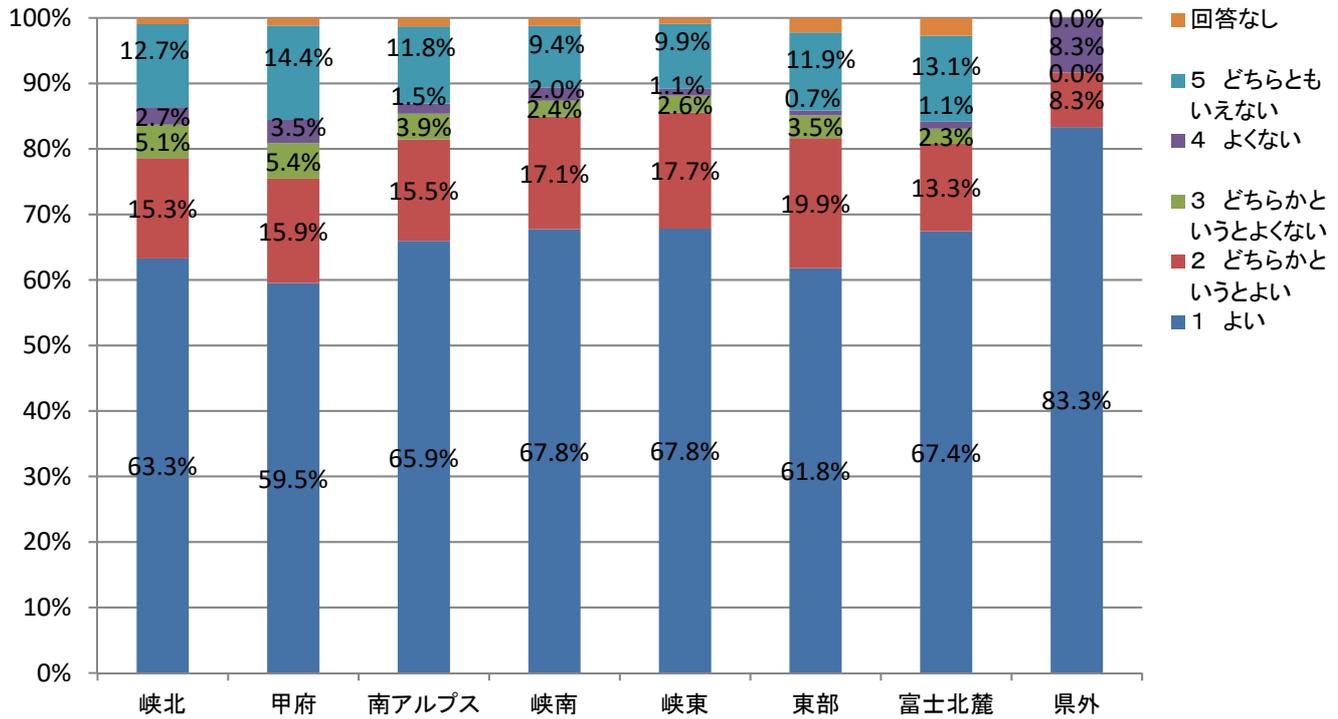
肯定的な回答が77.7%、否定的な回答が8.8%である。

## ●調査対象者別



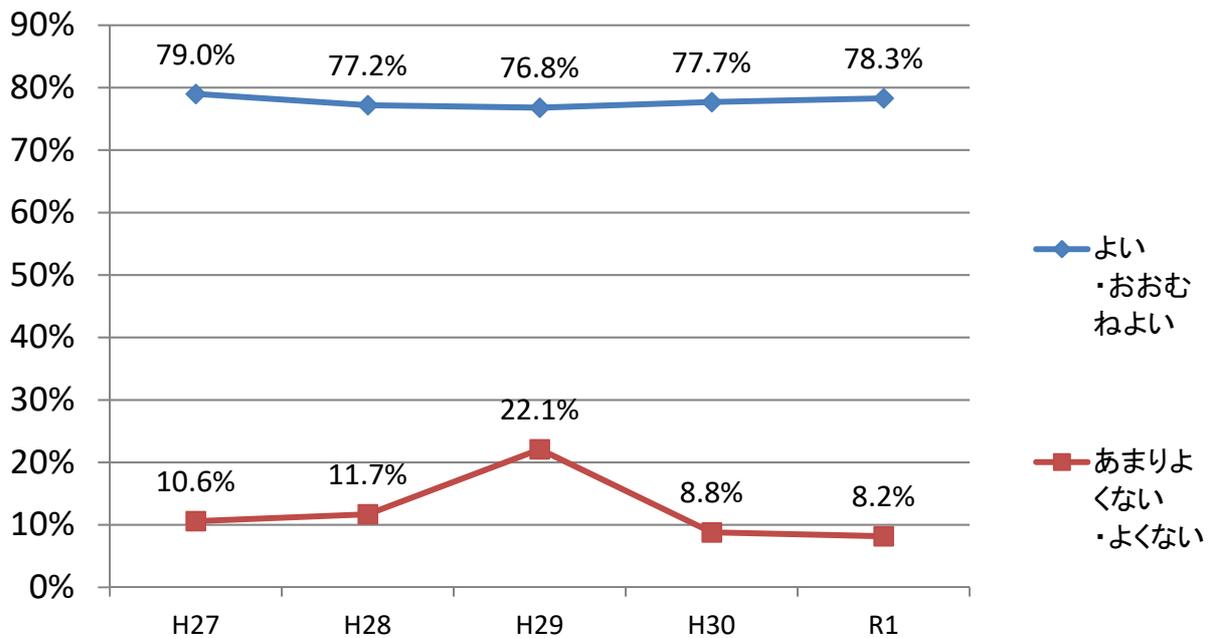
調査対象者別では、全体的に肯定的な回答が多い。

## ●居住地別(生徒及び保護者)



居住地別では、甲府地域の肯定感が相対的にやや低いが全体的に肯定感が高い。

## ●全県一学区制度評価の推移



※ H26調査より選択肢「どちらともいえない」を追加

H29調査より選択肢を「よくない」から「見直した方がよい」に変更。

H30調査では、「見直した方がよい」から「よくない」に変更。

## 2 前期募集制度について

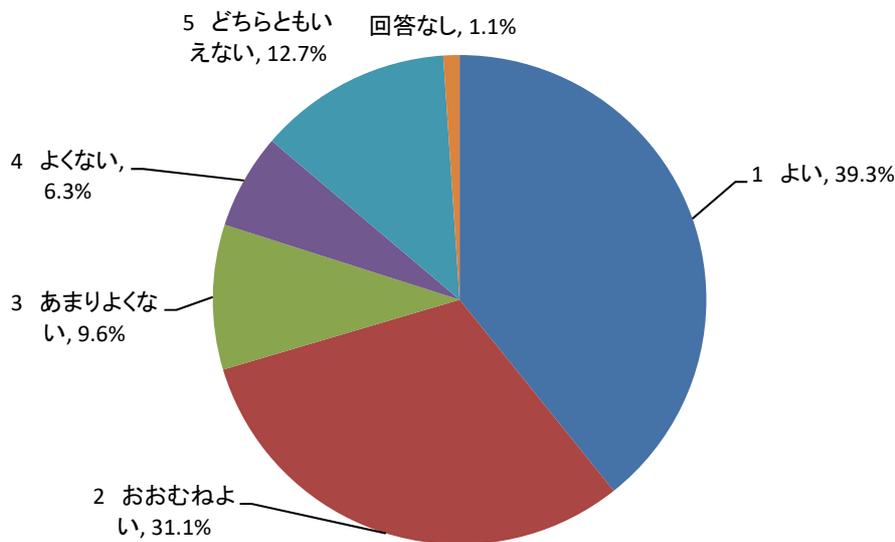
平成19年度入試より導入された前期募集制度について、どのように考えるかを尋ねた。

### ① 前期募集の評価

【全調査対象者】

(質問) 全日制の公立高校(甲陵高校を除く。)の入試では、5科目の学力検査によらずに各高校が定める多様な選抜方法からなる前期募集を実施していますが、この制度についてどう思いますか？ (次の中から1つ選んでください。)

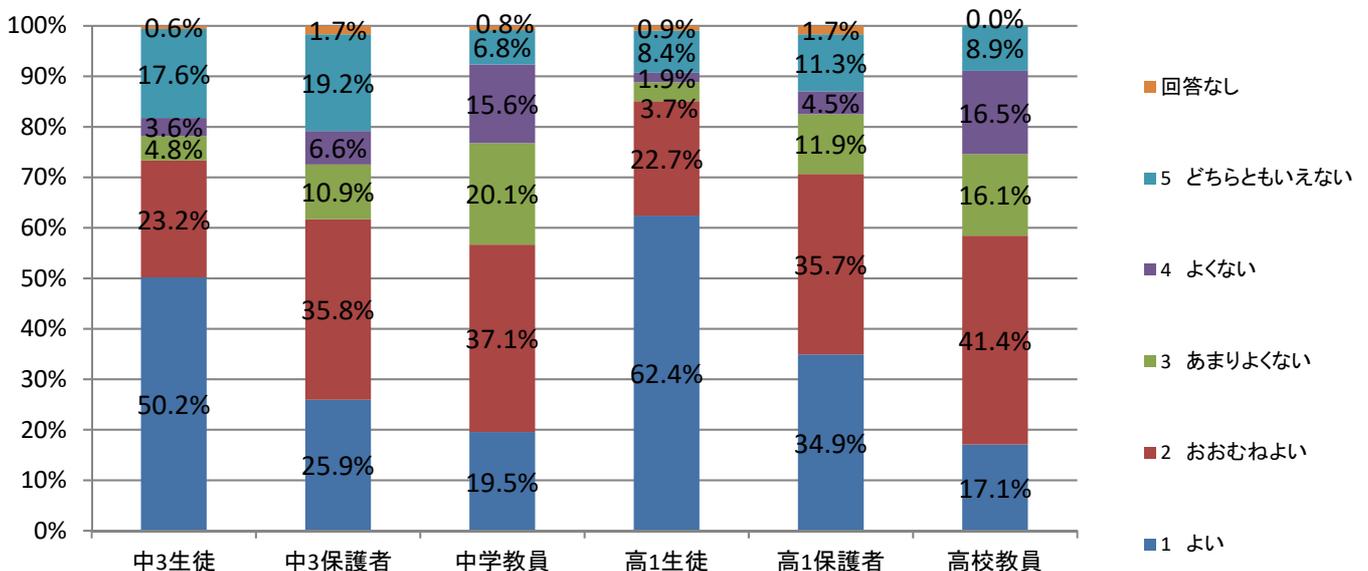
1 よい 2 おおむねよい 3 あまりよくない 4 よくない 5 どちらともいえない



【回答数:4911】

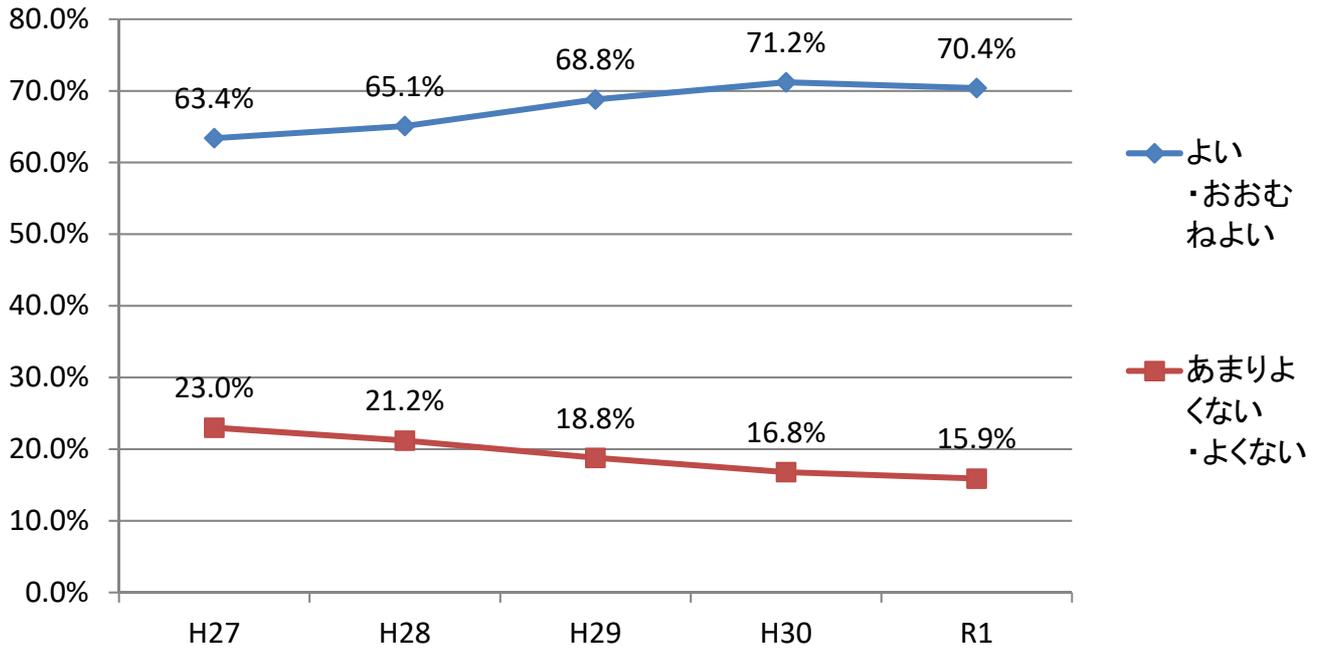
前期募集を評価する回答70.4%、評価しない回答が15.9%である。

#### ●調査対象者別



調査対象者別では、中学教員と高校教員で前期募集を評価しない回答が多い。

## ●前期募集評価の推移



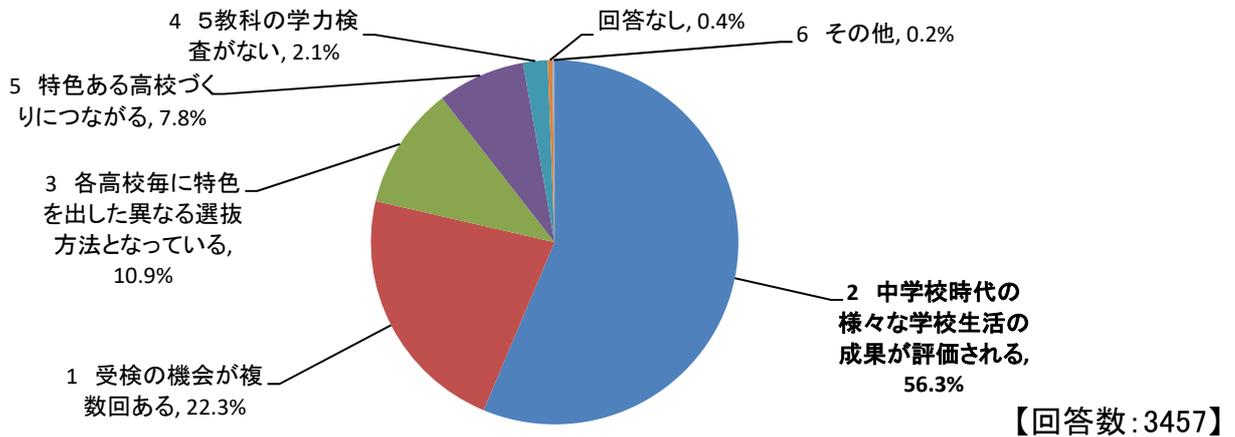
過去5年間の調査結果の推移によると、前期募集を評価する回答の割合が上昇し、評価しない回答が下降している。

## ② 前期募集を評価する理由

【前期募集に肯定的な評価をした者】

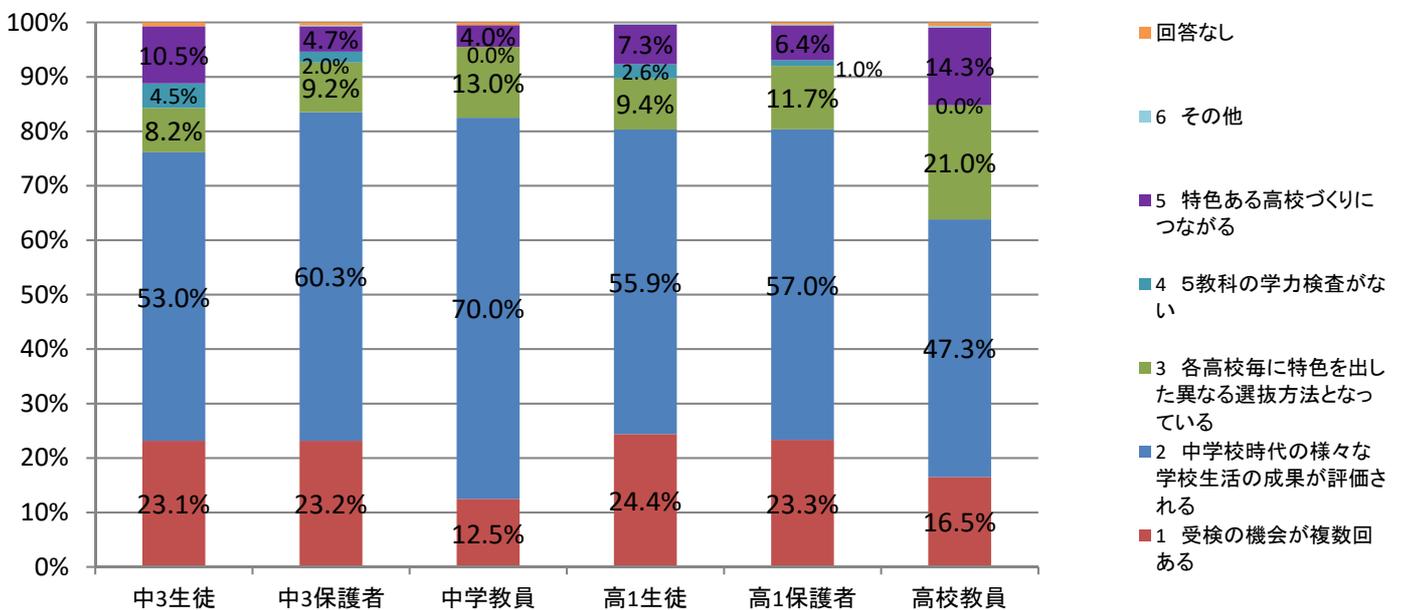
(質問) 前期募集制度を「1 よい」又は「2 おおむねよい」と答えた方にお聞きます。どのような部分が評価できると思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 受検の機会が複数回ある
- 2 中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される
- 3 各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている
- 4 5教科の学力検査がない
- 5 特色ある高校づくりにつながる
- 6 その他



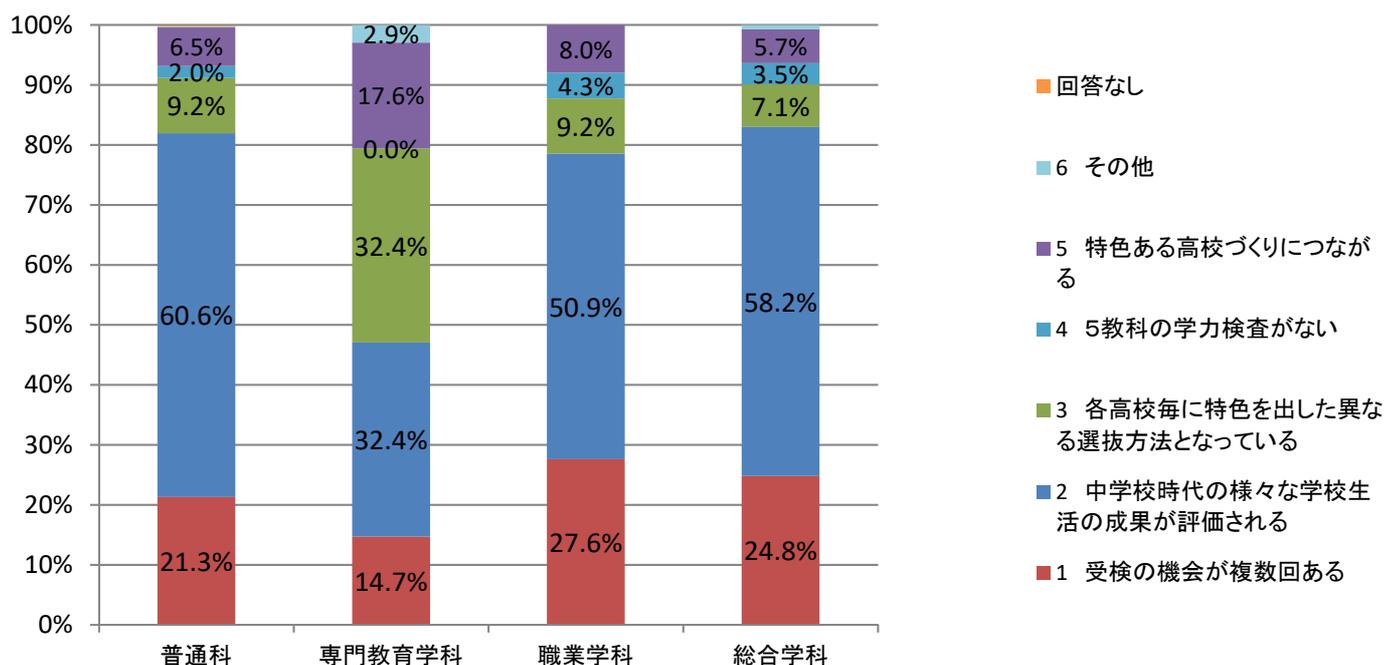
前期募集は主に「中学校時代の学校生活の成果が評価される」点において評価されている。

### ● 調査対象者別



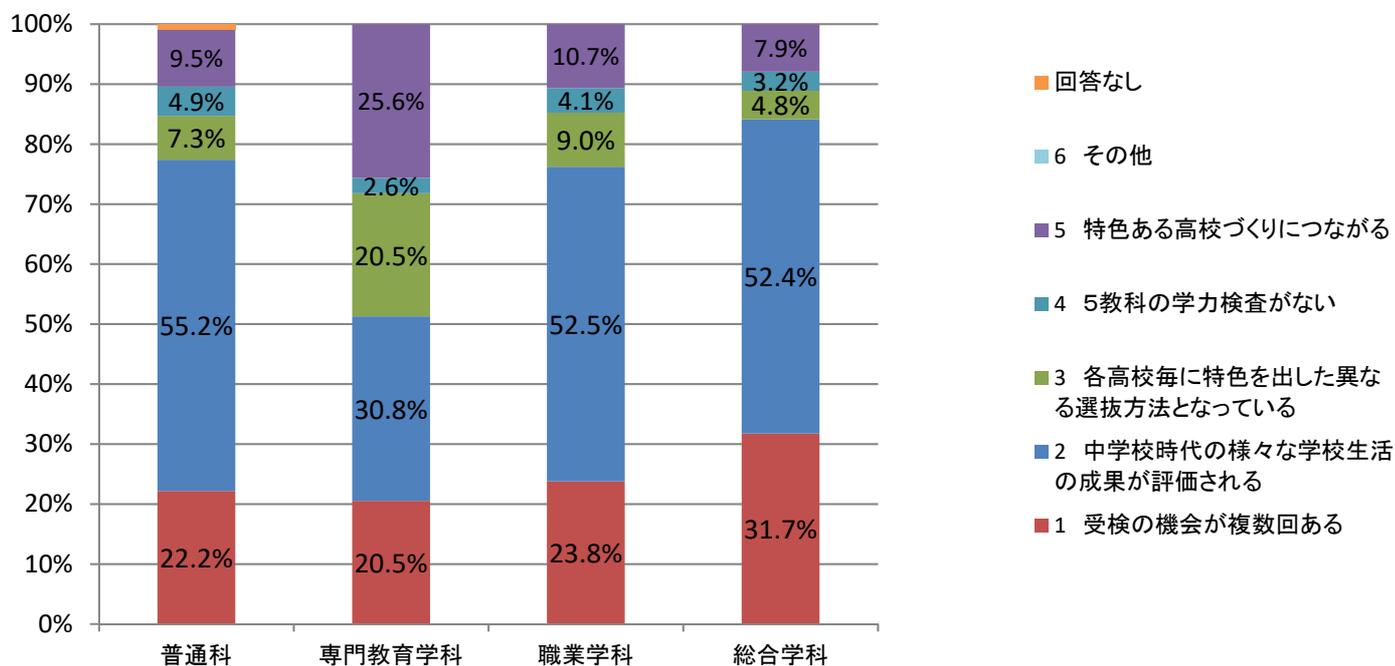
調査対象者別では、中学教員で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」の回答率が高い。また、高校教員では「各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある高校づくりにつながる」の回答率が他の調査対象者より高い。

## ●学科別(高1)



高1生徒が在籍する学科別では、専門教育学科で「各高校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある高校づくりにつながる」が他の学科在籍者よりも多い。

## ●学科別(中3)



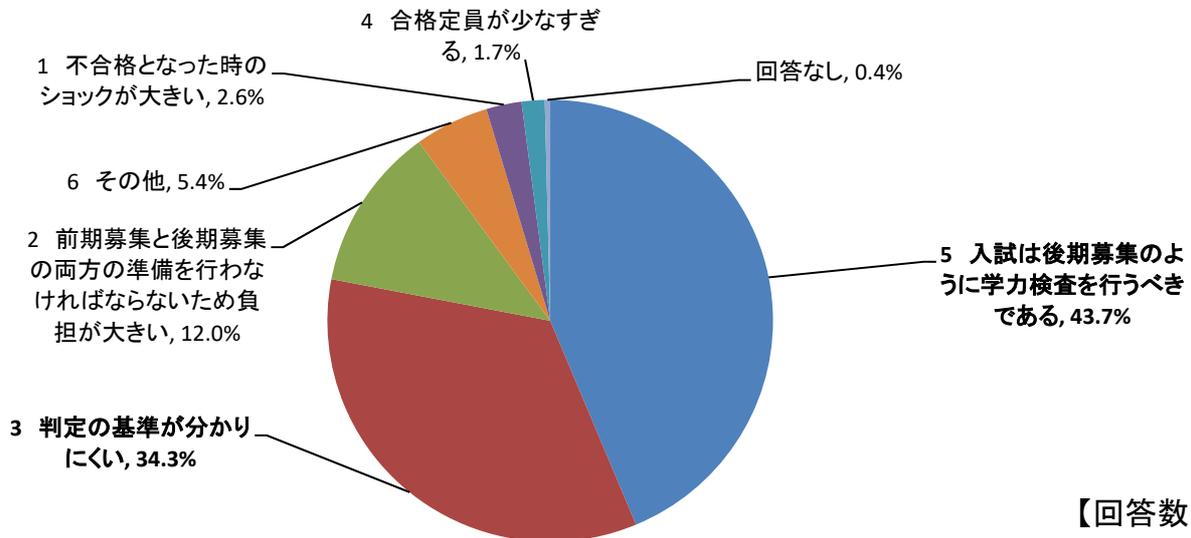
中3生徒が希望する学科別では、専門教育学科希望者で「中学校時代の様々な学校生活の成果が評価される」が他の学科希望者より少なく、「各学校毎に特色を出した異なる選抜方法となっている」「特色ある学校づくりにつながる」が多い。

### ③ 前期募集を評価しない理由

【前期募集を否定的に評価した者】

(質問) 前期募集制度を「3 あまりよくない」又は「4 よくない」と答えた方にお聞きます。どのような部分が評価できないと思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

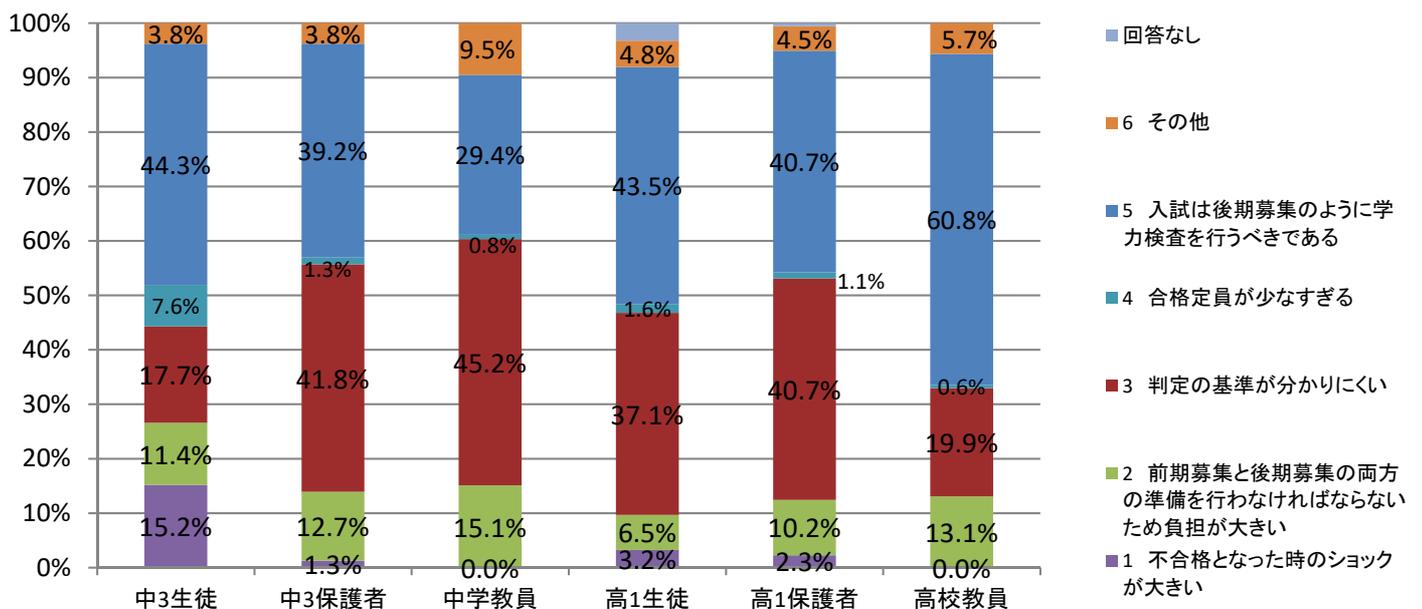
- 1 不合格となった時のショックが大きい
- 2 前期募集と後期募集の両方の準備を行わなければならないため負担が大きい
- 3 判定の基準が分かりにくい
- 4 合格定員が少なすぎる
- 5 入試は後期募集のように学力検査を行うべきである
- 6 その他



【回答数:778】

前期募集を評価しない主な理由は、「学力検査を行うべき」「判定の基準が分かりにくい」点である。より透明性の高い検査制度とするよう努める必要がある。

#### ● 調査対象者別



否定的評価の要素として、中3生徒では、「学力検査を行うべき」の回答が多い。中3保護者では「判定の基準が分かりにくい」「学力検査を行うべき」が多い。

中学教員では、「判定の基準が分かりにくい」が半数以上を占める。

高校教員では「学力検査を行うべき」が半数以上を占める。

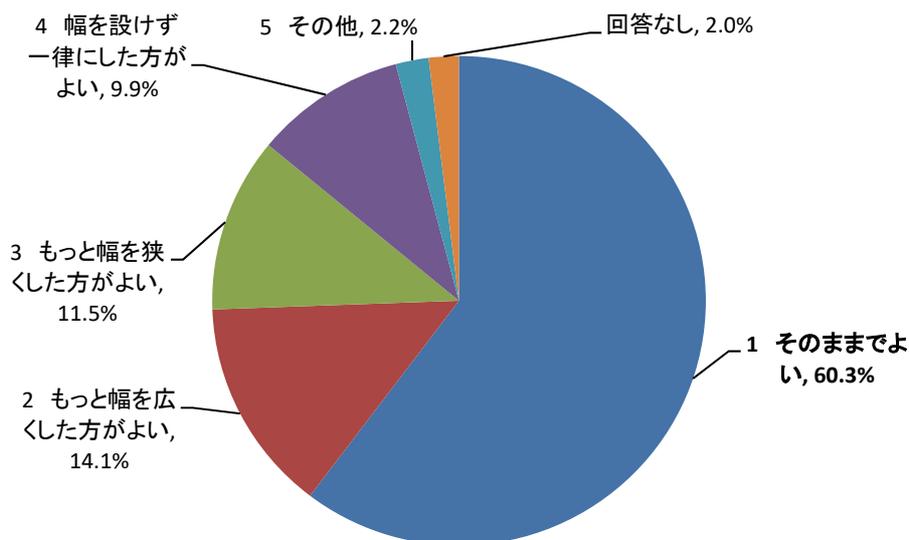
## ④ 前期募集の募集率

【全調査対象者】

(質問) 前期募集の募集率は、一定の幅の中で各高校が、学科ごとに定めております。例えば普通科では10%から40%まで幅があります。この前期募集の募集率についてどう思いますか？

(次の中から1つ選んでください。)

- 1 そのままでよい
- 2 もっと幅を広くした方がよい
- 3 もっと幅を狭くした方がよい
- 4 幅を設けず一律にした方がよい
- 5 その他



【回答数:4911】

前期募集の募集率について、現状維持の回答が半数以上である。2～4の回答については、概ね拮抗している。

## ⑤ 前期募集への出願

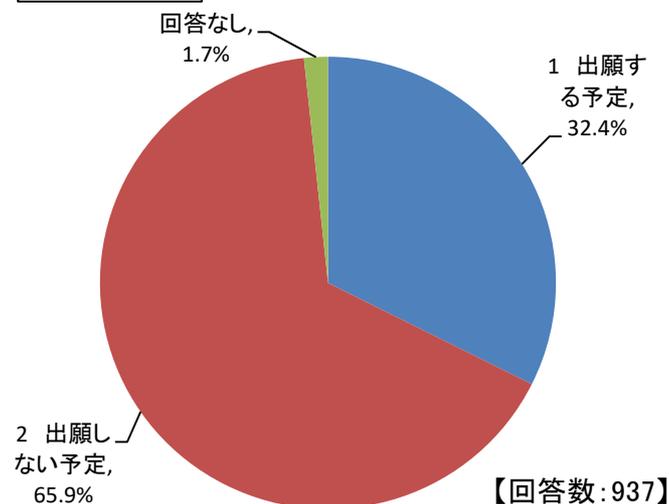
【中3生徒、高1生徒】

(質問) 前期募集に出願しますか？／前期募集に出願しましたか？

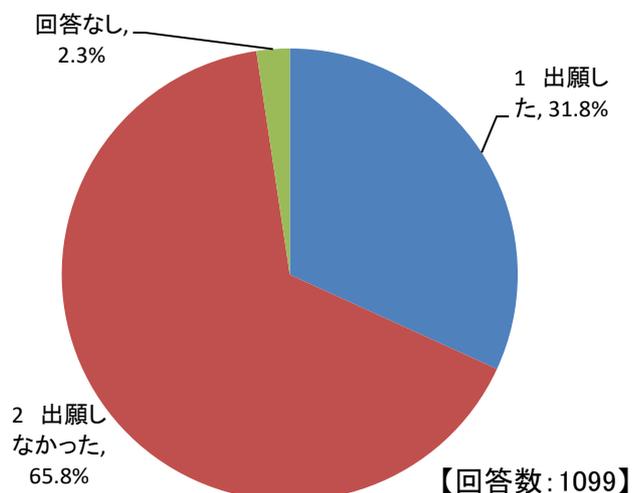
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 出願した／出願する予定    2 出願しなかった／出願しない予定

中3生徒

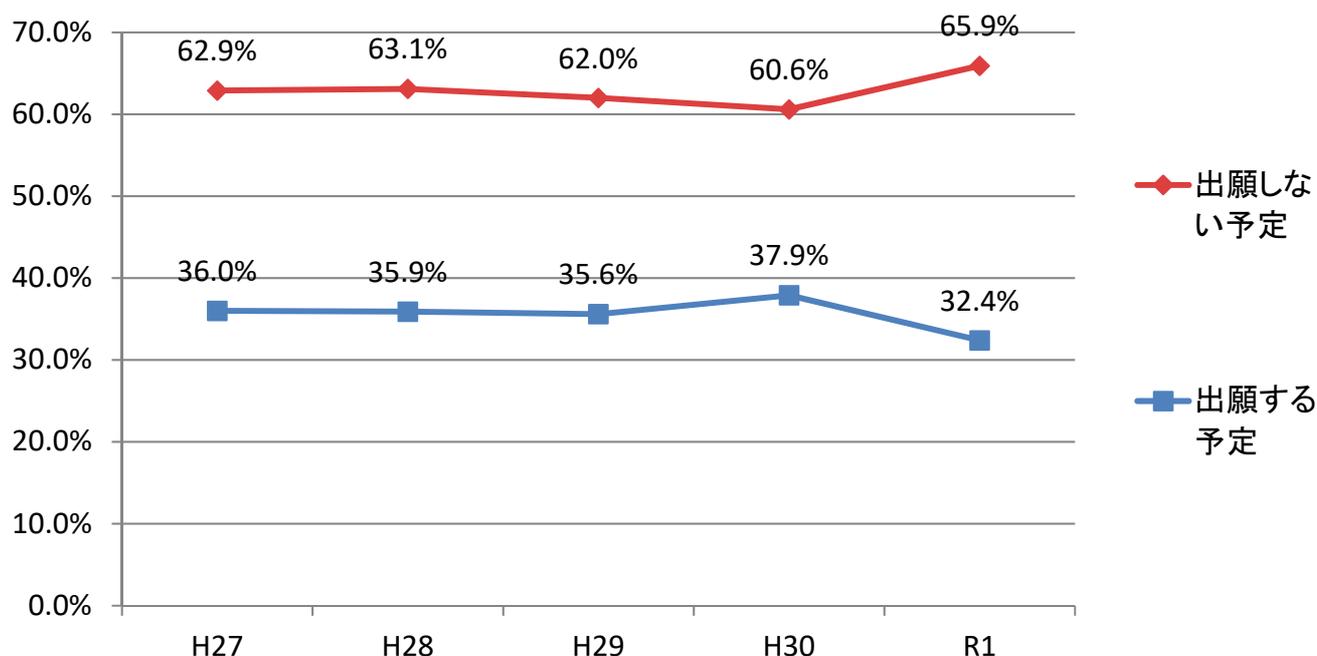


高1生徒



前期募集の出願する予定の中学3年生は32.4%、出願した高校1年生の割合は31.8%である。「複数回の受検機会」は、前期募集導入の目的の一つであるため、より志願しやすい制度としていく必要がある。

### ●中3生徒の前期募集出願予定の推移



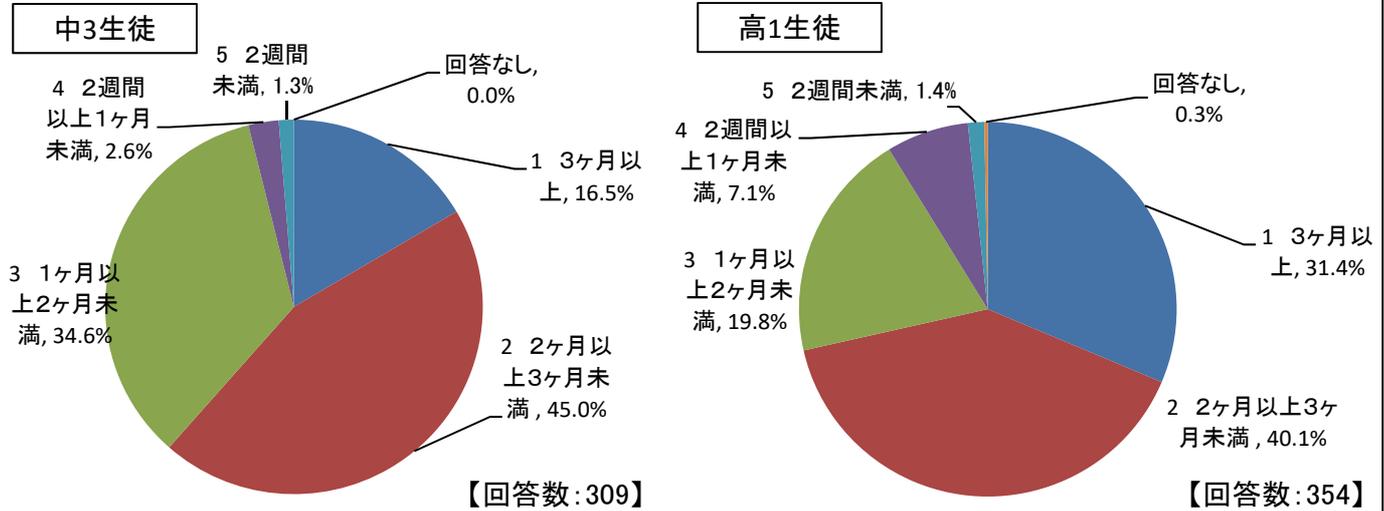
過去5年間の調査結果の推移によると、「出願予定」がほぼ横ばいからやや下降へと推移している。

## ⑥ 前期募集の準備期間

【前期募集に出席する/  
した中3生徒・高1生徒】

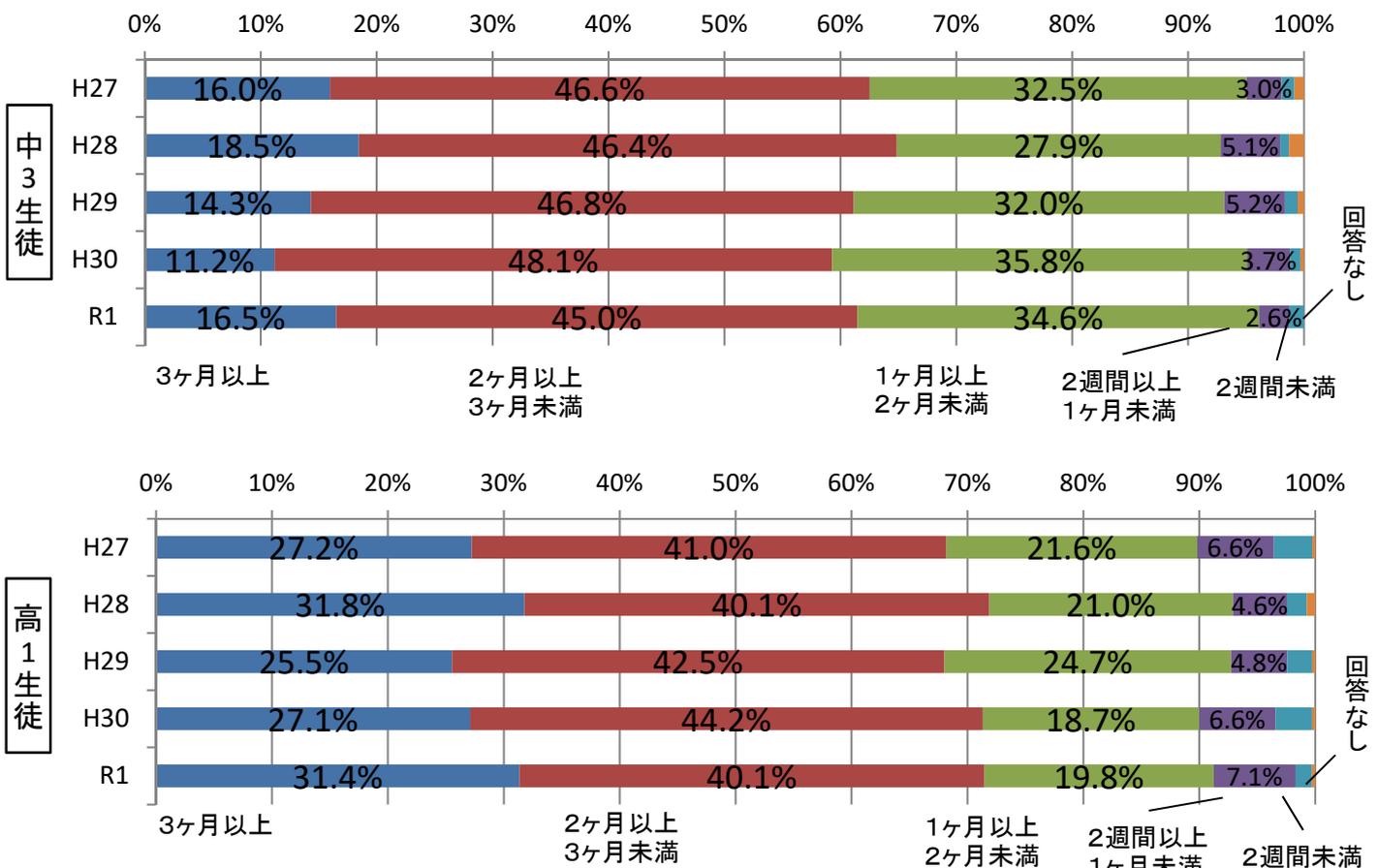
(質問) 面接や特色適性検査などの前期募集検査に対する準備をどのくらいの期間行う予定ですか／どのくらいの期間行いましたか？ (次の中から1つ選んでください。)

- 1 3ヶ月以上      2 2ヶ月以上3ヶ月未満      3 1ヶ月以上2ヶ月未満  
4 2週間以上1ヶ月未満      5 2週間未満



入学した高校1年生では、準備期間2ヶ月以上が約7割を占めている

### ●前期募集準備期間の推移



過去5年の推移では、おおむね横ばいである。実際に入学した生徒の準備期間は予定よりも長くなる傾向も見て取れ、前期募集を受検するに当たっての準備にかかる負担の軽減策の検討も必要である。

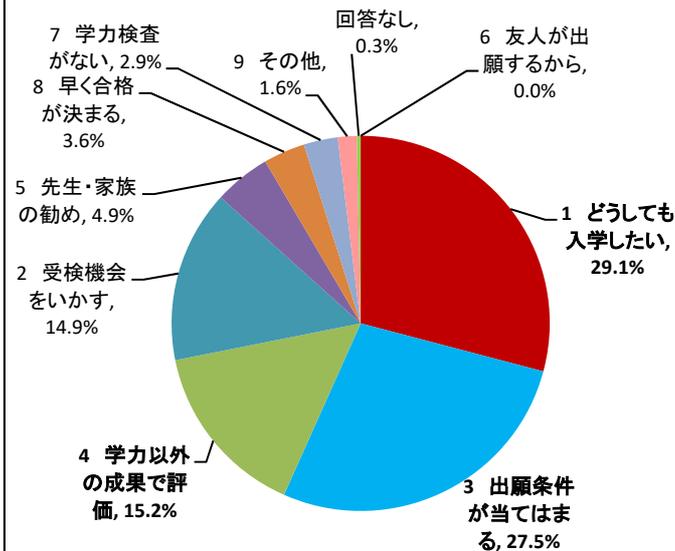
## ⑦ 前期募集の出願理由

【前期募集に出願する/  
した中3生徒・高1生徒】

(質問) 前期募集に出願する(した)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

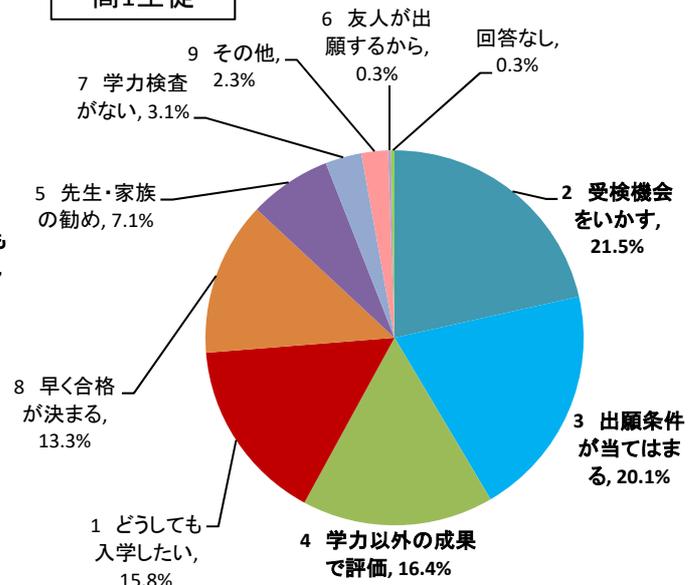
- |  |                     |
|--|---------------------|
| 1 どうしても入学したい学校・学科(コース)だから                | 2 受検機会を最大限生かそうと思うから |
| 3 入学したい高校の「出願条件」などが当てはまり、得意なことが活かせると思うから |                     |
| 4 学力以外の成果が評価されるから                        | 5 先生や家族に勧められたから     |
| 6 友人が出願するから                              |                     |
| 7 学力検査(5教科)がないから                         | 8 早く合格(内定)が決まるから    |
| 9 その他                                    |                     |

中3生徒



【回答数:309】

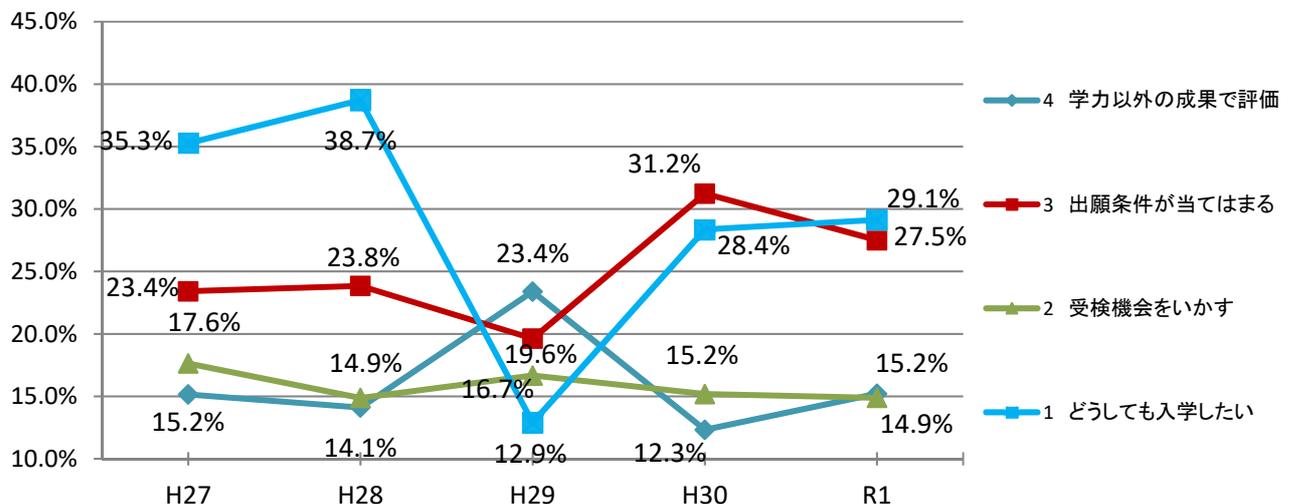
高1生徒



【回答数:354】

中3生徒では「どうしても入学したい」や「出願条件が当てはまる」ことが主な出願理由となっている。高1生徒では「受検機会をいかず」「出願条件が当てはまる」「学力以外の成果」が主な出願理由である。「出願の条件」は、共通して大きな要素の一つである。

### ●中3生徒の主な出願理由の推移



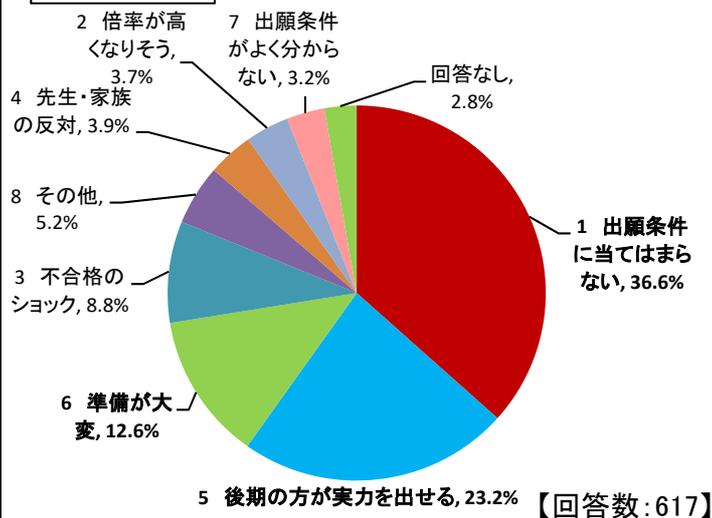
## ⑧ 前期募集の不出願理由

【前期募集に出願しない/  
しなかった中3生徒・高1生徒】

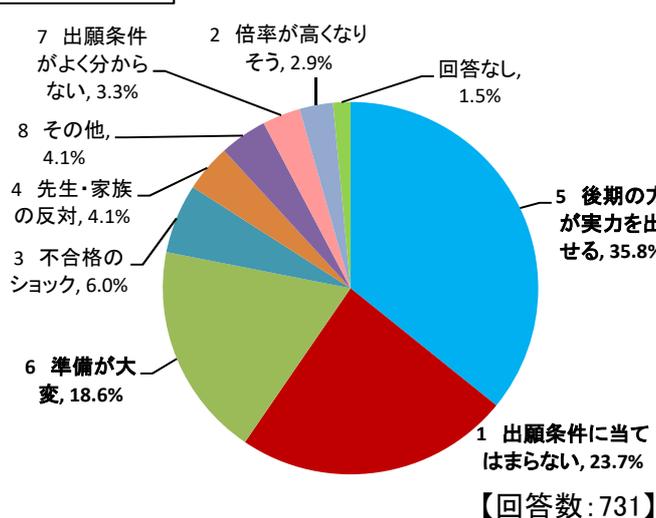
(質問) 前期募集に出願しない(しなかった)理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 高校の「出願条件」などに当てはまらないと思うから
- 2 倍率が高くなりそうだと思うから
- 3 不合格になるとショックが大きいと思うから
- 4 先生や家族に反対されたから
- 5 後期募集(学力検査)の方が実力を出せると思うから
- 6 面接、特色適性検査などの準備が大変だと思うから
- 7 出願の条件がよく分からないから
- 8 その他

中3生徒



高1生徒

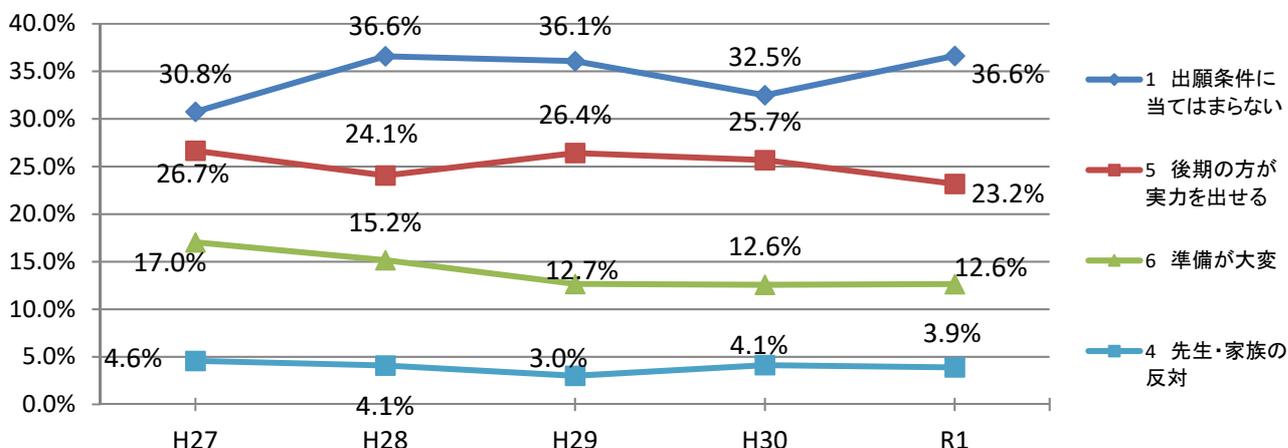


中3生徒では「出願条件に当てはまらない」「後期の方が実力を出せる」「準備が大変」という点が出願しない主な理由となっている。

高1生徒では「後期の方が実力を出せる」「出願条件に当てはまらない」「準備が大変」という点が出願しなかった主な理由であり、中3生徒とおおむね同じ傾向である。

各高校で特色化につながる「出願の条件」を提示している。「出願の条件」については、少数ながら、「出願条件がよく分からない」回答があった。受検生全員に理解できるよう、条件の設定や記載等についてわかりやすく改善していく必要がある。

### ●中3生徒の主な出願しない理由の推移



※ H29年調査より選択肢を1項目追加

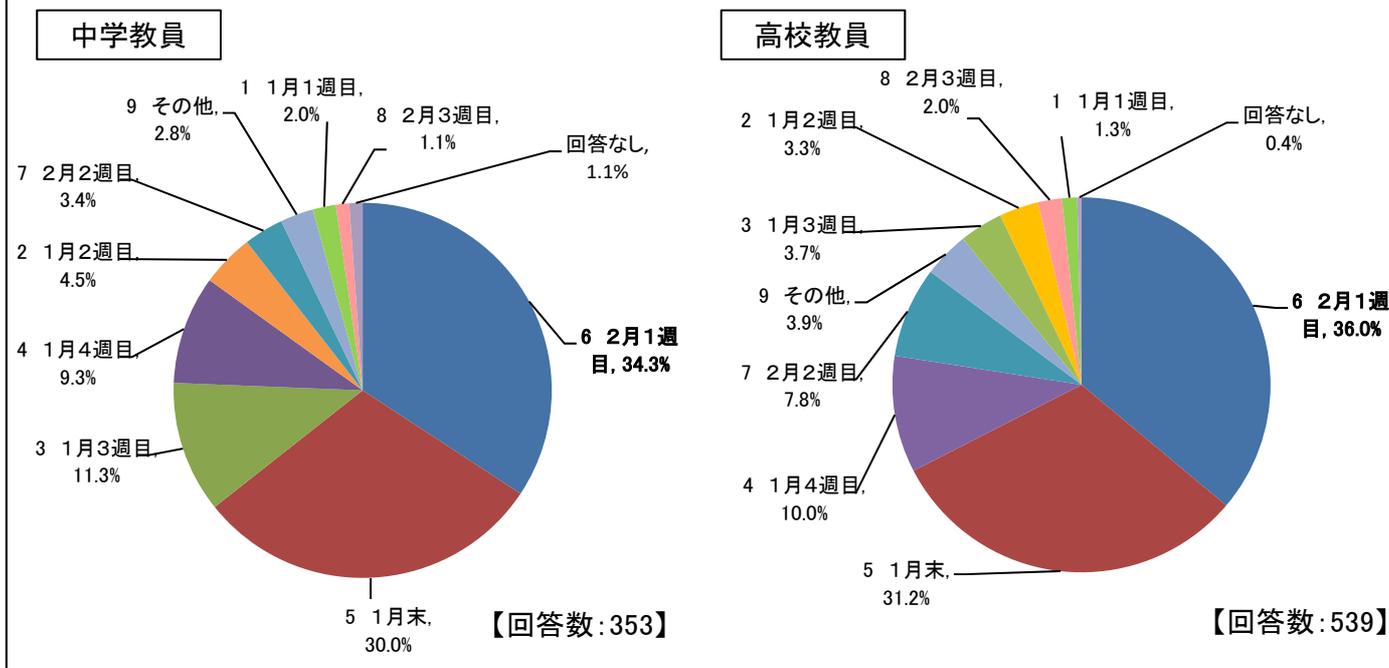
## ⑨ 前期募集の実施時期

【中学教員、高校教員】

(質問) 前期募集の実施はどの時期に行われると良いと考えますか？

(次の中から1つ選んでください。)

- 1 1月1週目    2 1月2週目    3 1月3週目    4 1月4週目    5 1月末  
6 2月1週目    7 2月2週目    8 2月3週目    9 その他



中学教員、高校教員ともに現在の前期募集実施時期である「1月末」、「2月1週目」の回答で約2/3を占める。現在の入試日程が定着しているものと考えられる。

### 3 学校選択・高校生活等について

生徒の学校選択や学校選択等について、考え方を尋ねた。

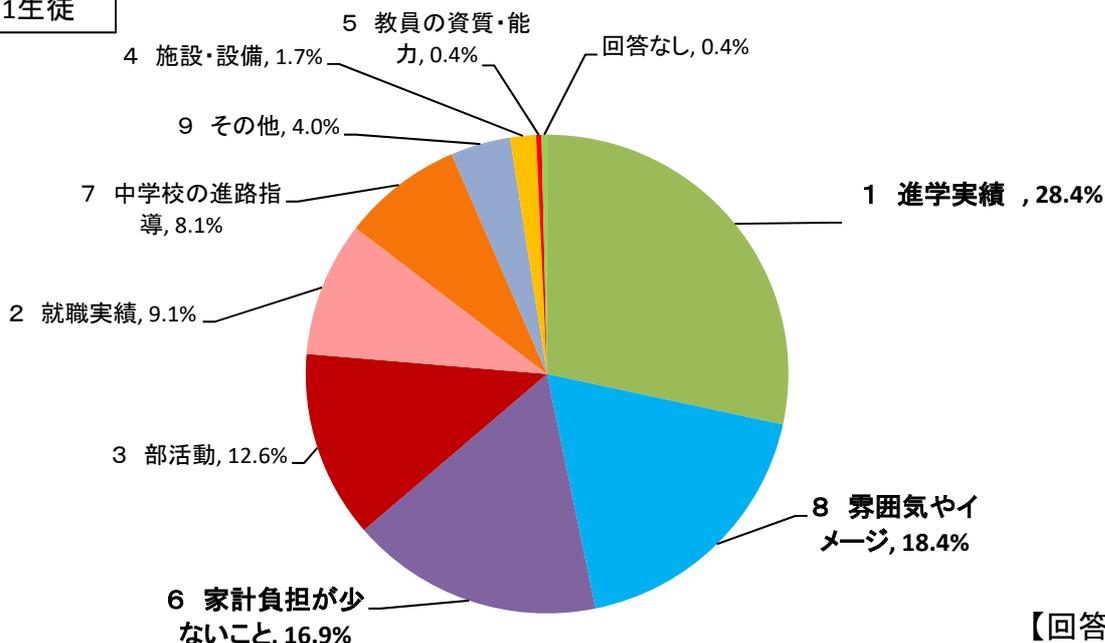
#### ① 公立高校選択の理由

【高1生徒・保護者】

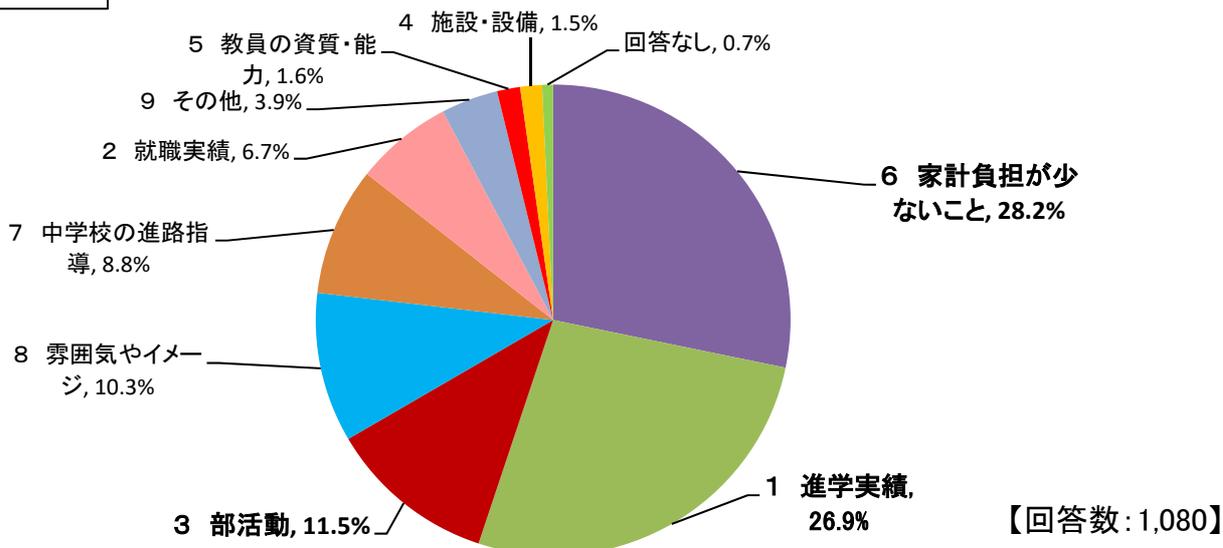
(質問) あなた(あなたのお子様)が公立高校を選んだ理由はなんですか？(次の中から1つで選んでください。)

- 1 進学実績    2 就職実績    3 部活動    4 施設・設備    5 教員の資質・能力
- 6 家計負担が少ないこと    7 中学校の進路指導    8 雰囲気やイメージ
- 9 その他

高1生徒



高1保護者



高1生徒及び保護者では、「進学実績」「家計負担が少ないこと」が共通した主要な理由である。

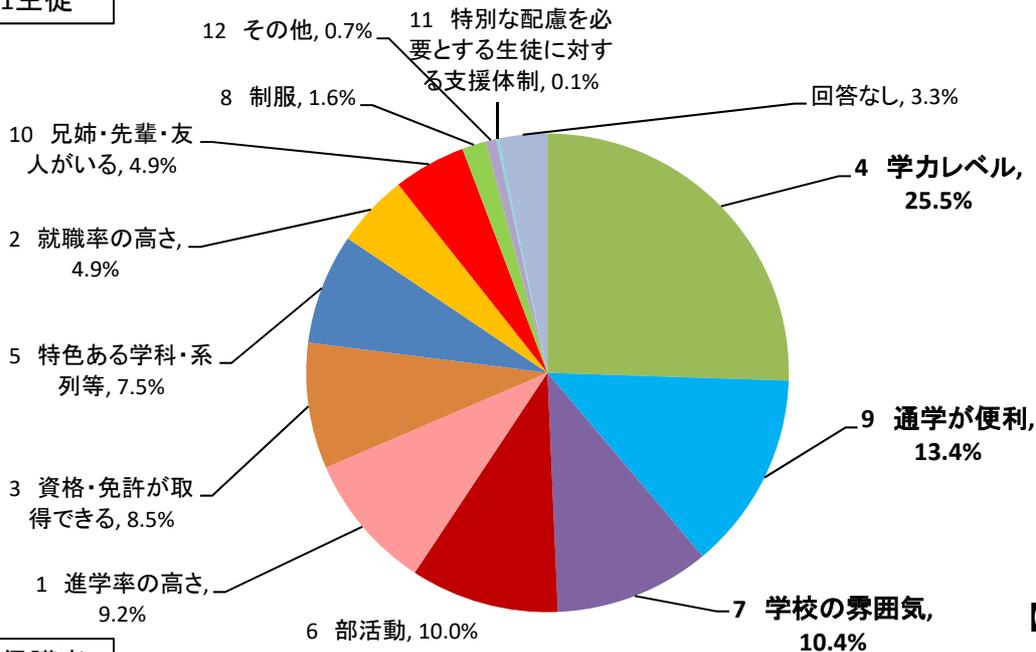
## ② 学校選択の理由

【高1生徒・保護者】

(質問) あなた(あなたのお子様)が高校を選ぶとき、何に重きを置きましたか？(次の中から2つ以内で選んでください)

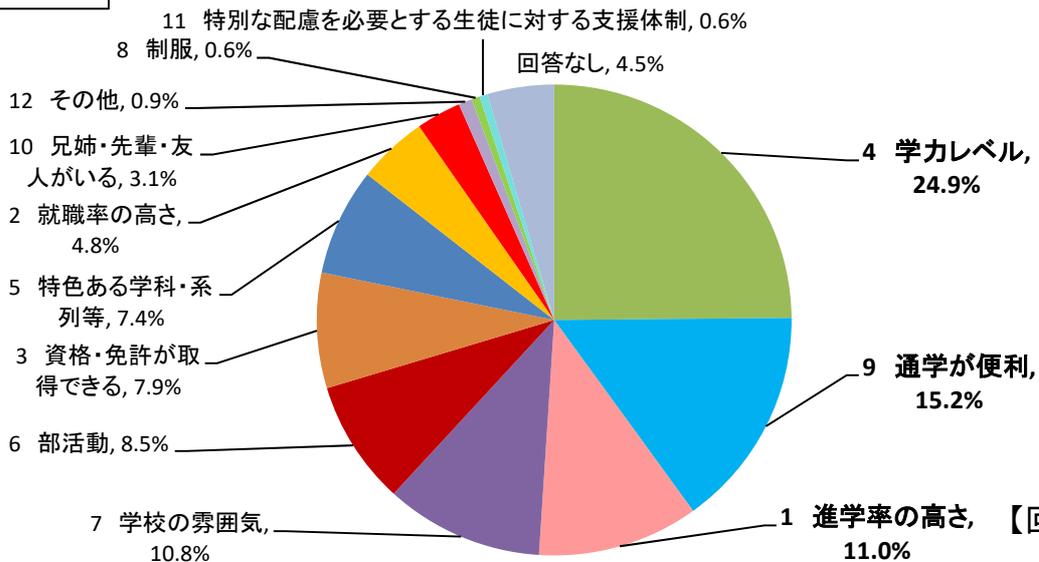
- 1 進学率の高さ 2 就職率の高さ 3 資格・免許が取得できる 4 学力レベル  
 5 特色ある学科・系列等 6 部活動 7 学校の雰囲気 8 制服 9 通学が便利  
 10 兄弟・先輩・友人がいる 11 特別な配慮を必要とする生徒に対する支援体制 12 その他

### 高1生徒



【回答数:1,099】

### 高1保護者



【回答数:1,080】

高1生徒及び保護者では、「学力レベル」「通学が便利」が共通した主要な理由である。

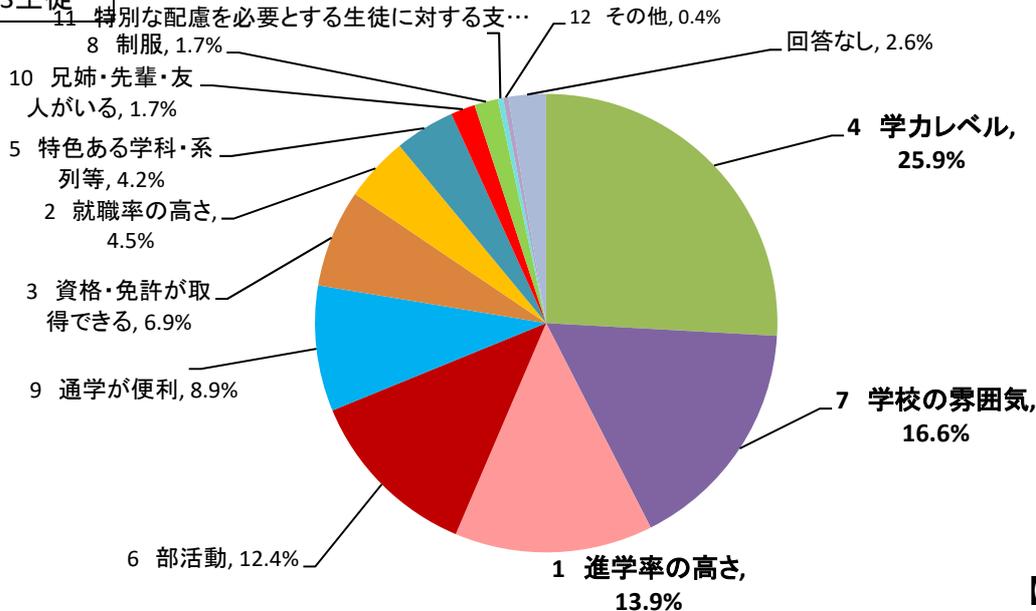
## ② 学校選択の理由について

【中3生徒・保護者】

(質問) あなた(あなたのお子様)が高校を選ぶとき、何に重きを置きますか？(次の中から2つ以内で選んでください)

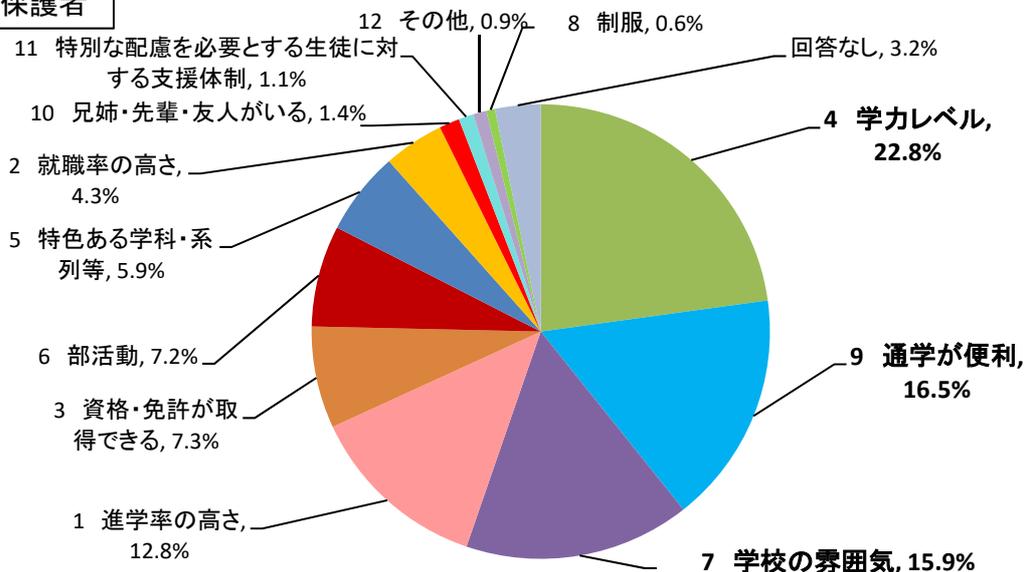
- 1 進学率の高さ 2 就職率の高さ 3 資格・免許が取得できる 4 学力レベル  
 5 特色ある学科・系列等 6 部活動 7 学校の雰囲気 8 制服 9 通学が便利  
 10 兄弟・先輩・友人がいる 11 特別な配慮を必要とする生徒に対する支援体制 12 その他

中3生徒



【回答数:937】

中3保護者

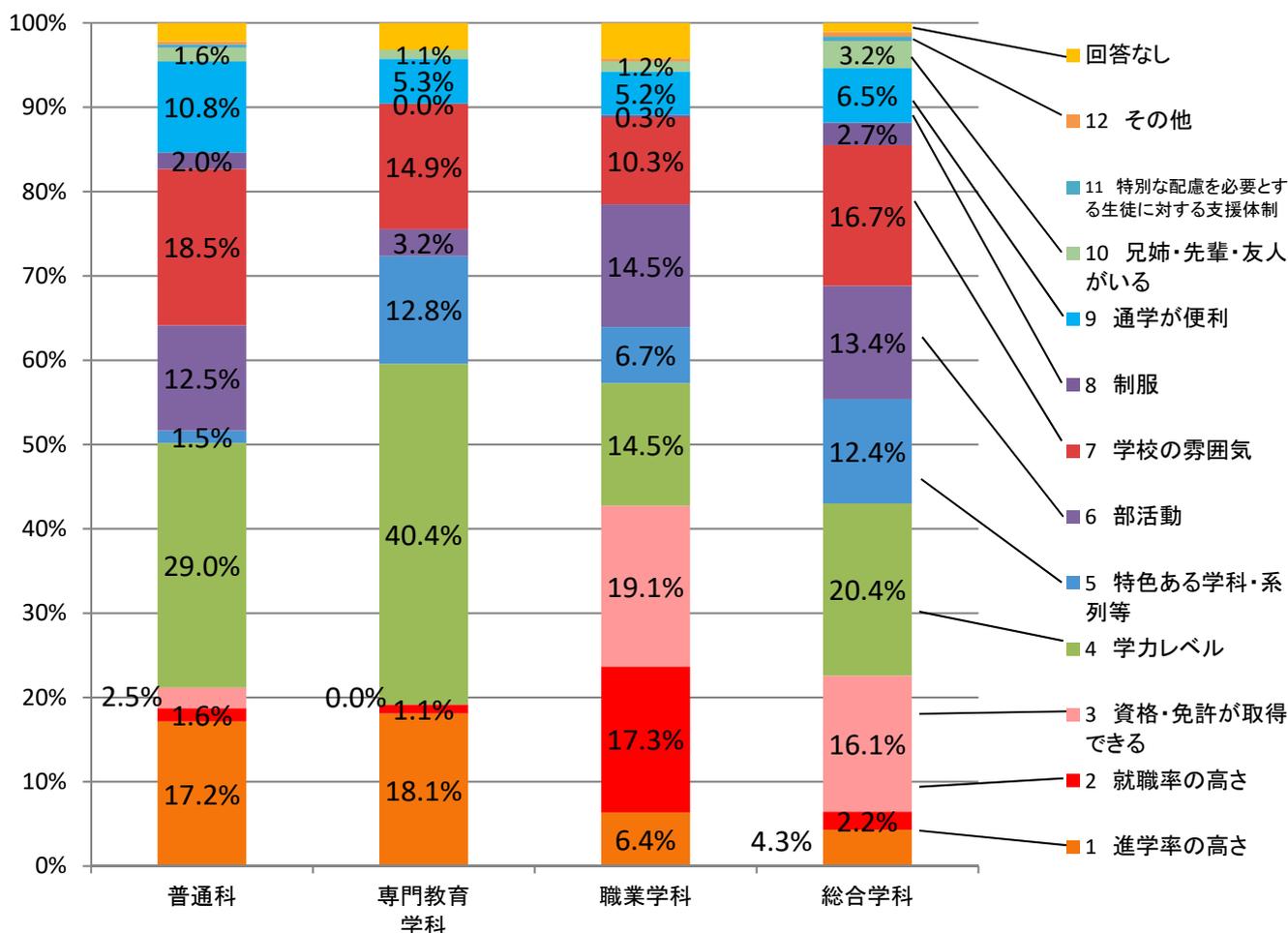


【回答数:903】

中3生徒及び保護者では、「学力レベル」「学校の雰囲気」が共通して主要な理由である。保護者では、通学の便も、学校選択の大きな要素となっている。

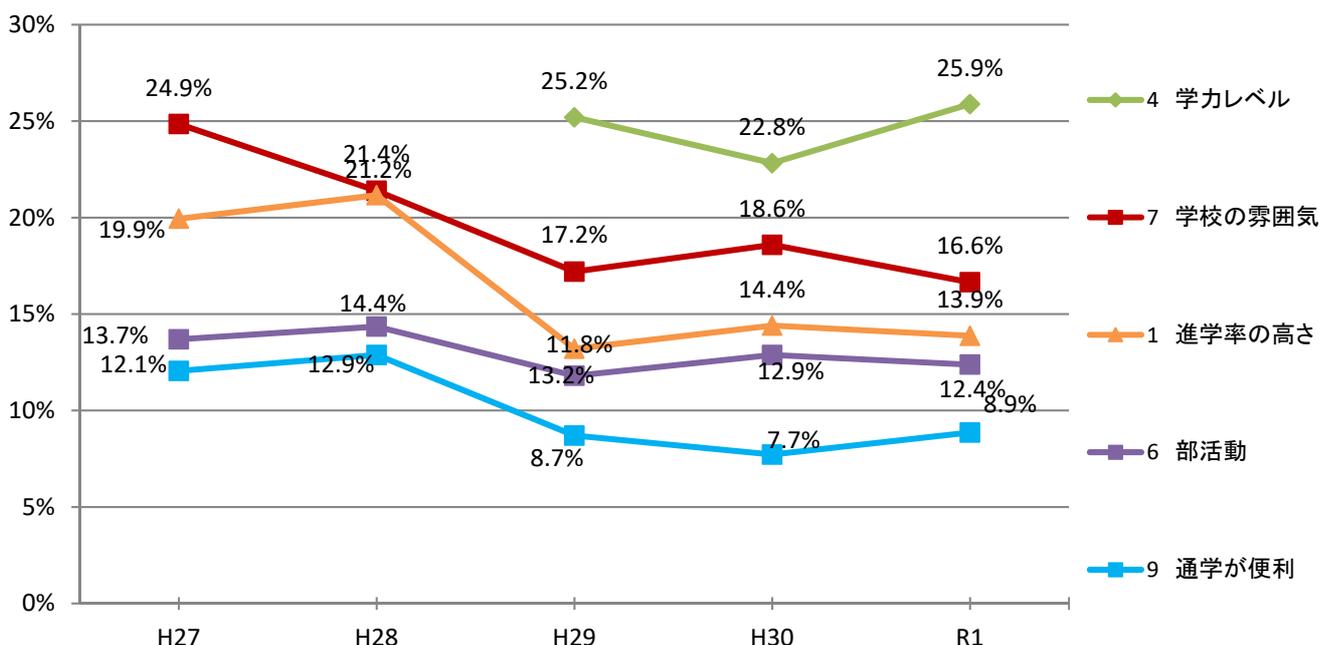
中高生徒・保護者において、学校選択の理由として「学力レベル」が共通して最も重要な要素となっている。

●中3生徒の希望学科別の学校選択理由



普通科・専門教育学科では「学力レベル」、「進学率の高さ」、職業学科では「資格・免許が取得できる」、「就職率の高さ」の回答が多い。

●中3生徒の学校選択の主な理由の推移（H27～R1調査）



※ H29年度調査より、選択肢に2項目（「学力レベル」「制服」）を追加した。

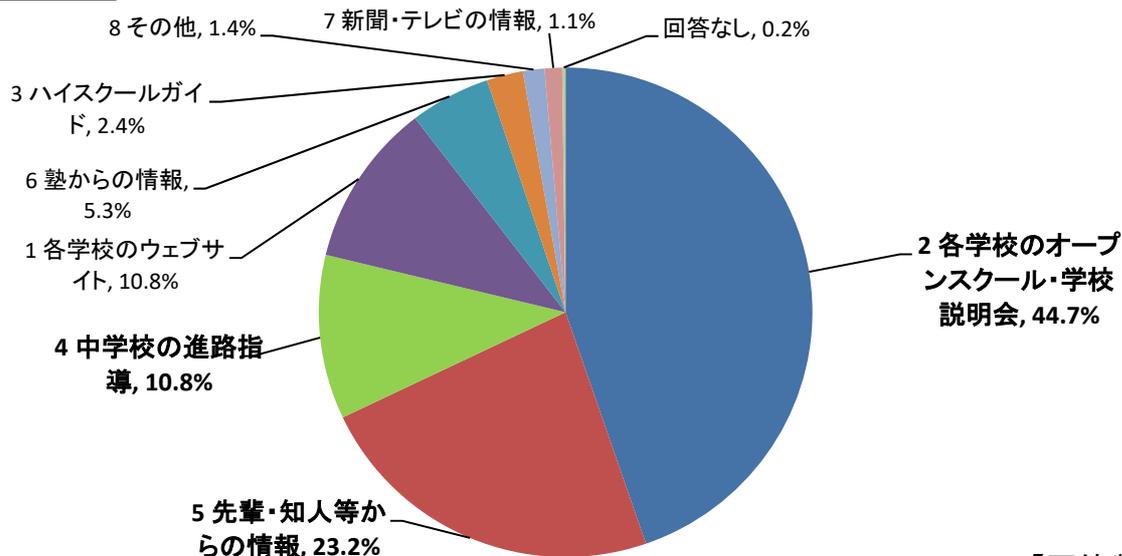
### ③ 学校選びの参考

【中3生徒、高1生徒】

(質問) あなたが高校を選ぶとき、何を参考にしましたか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

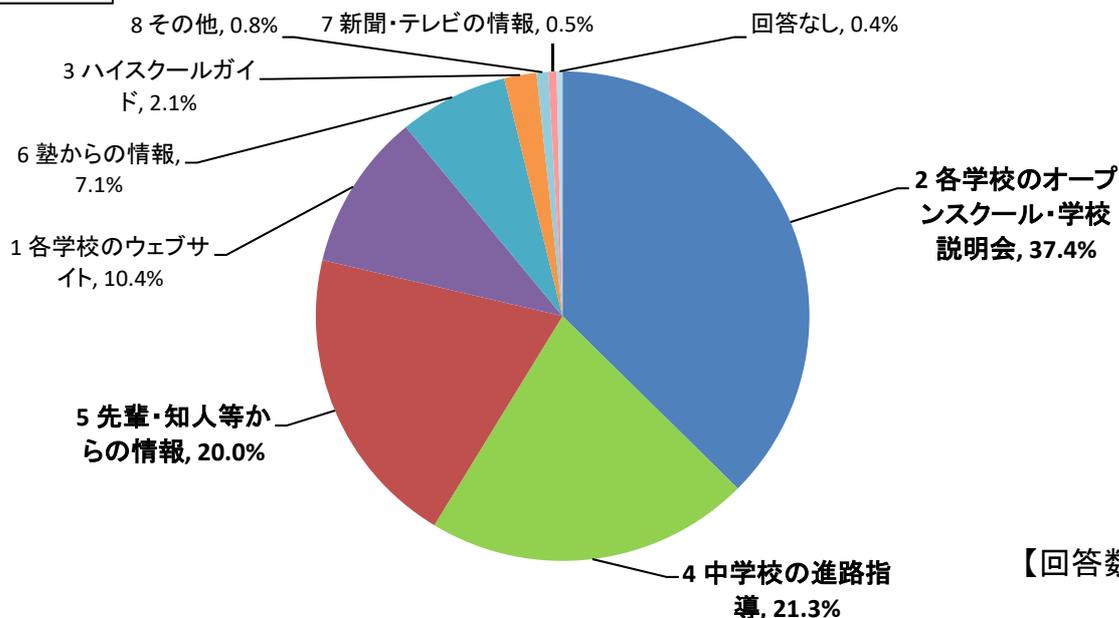
- 1 各学校のウェブサイト 2 各学校のオープンスクール・学校説明会 3 ハイスクールガイド  
4 中学校の進路指導 5 先輩・知人等からの情報 6 塾からの情報 7 新聞・テレビの情報 8 その他

中3生徒



【回答数:937】

高1生徒



【回答数:1,099】

中3生徒及び高1生徒に共通して「各学校のオープンスクール・学校説明会」「先輩・知人等からの情報」「中学校の進路指導」が主要な回答となっている。特に、オープンスクール等は、生徒の進路選択への影響が大きいと考えられる。

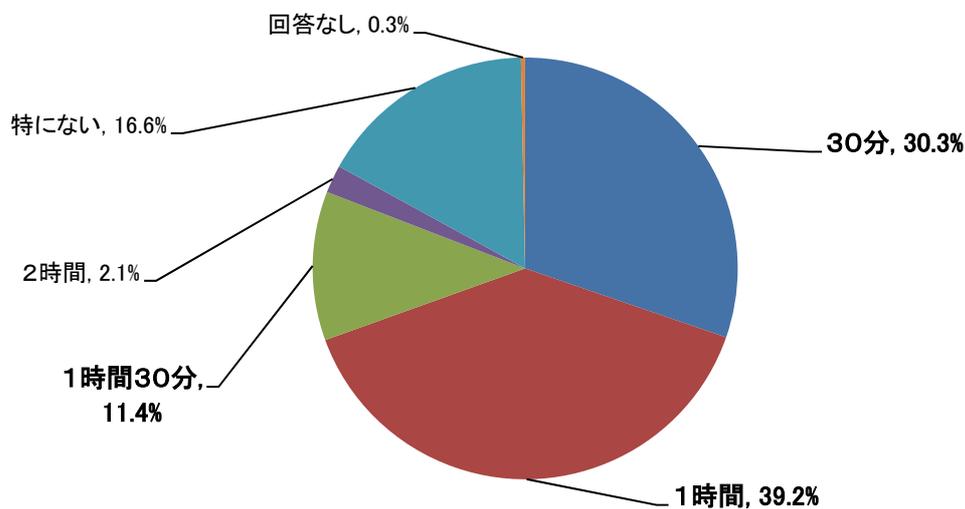
## ④ 生徒の通学時間

【中3生徒・保護者、高1生徒】

(質問) 通う(通わせる)場合、通学にかかる片道の時間の限界は、どのぐらいと考えますか？(次の中から1つ選んでください。)

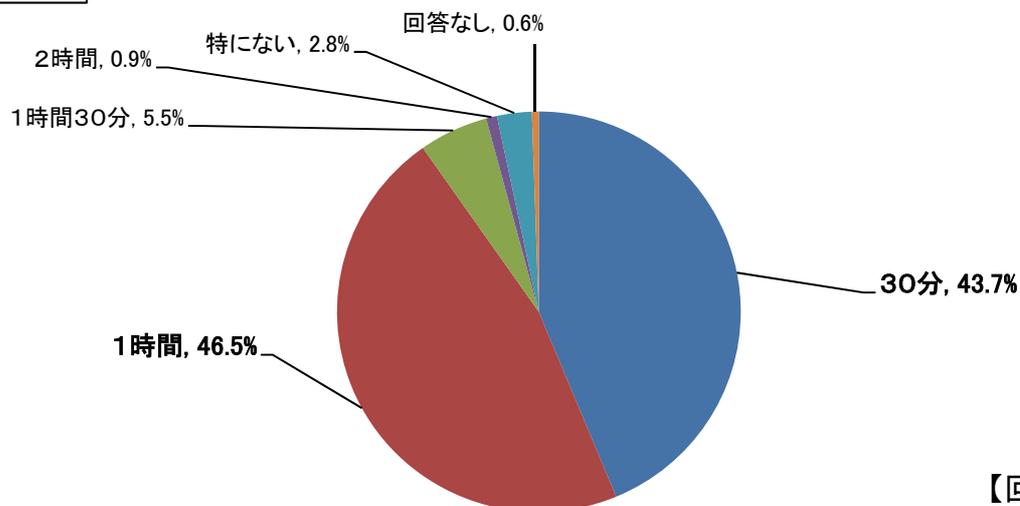
1 30分 2 1時間 3 1時間30分 4 2時間 5 特にない

中3生徒



【回答数:937】

中3保護者



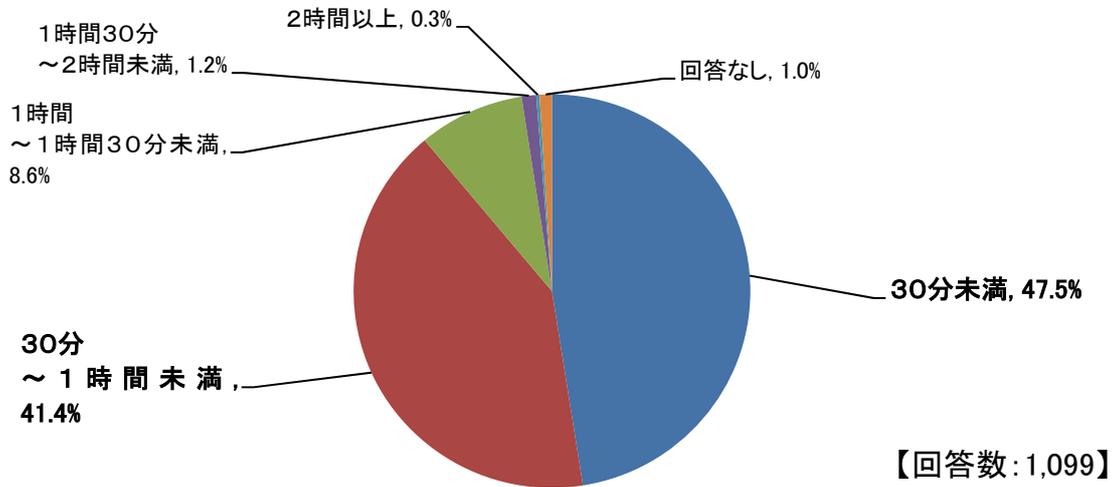
【回答数:903】

通学時間の限界として、中3保護者では1時間までの回答が90.2%である。一方、実際に通学することとなる中3生徒では、1時間までの回答が69.5%、1時間30分までが80.9%と回答しており、保護者よりも、長時間通学となる学校選択も許容すると考えられる。

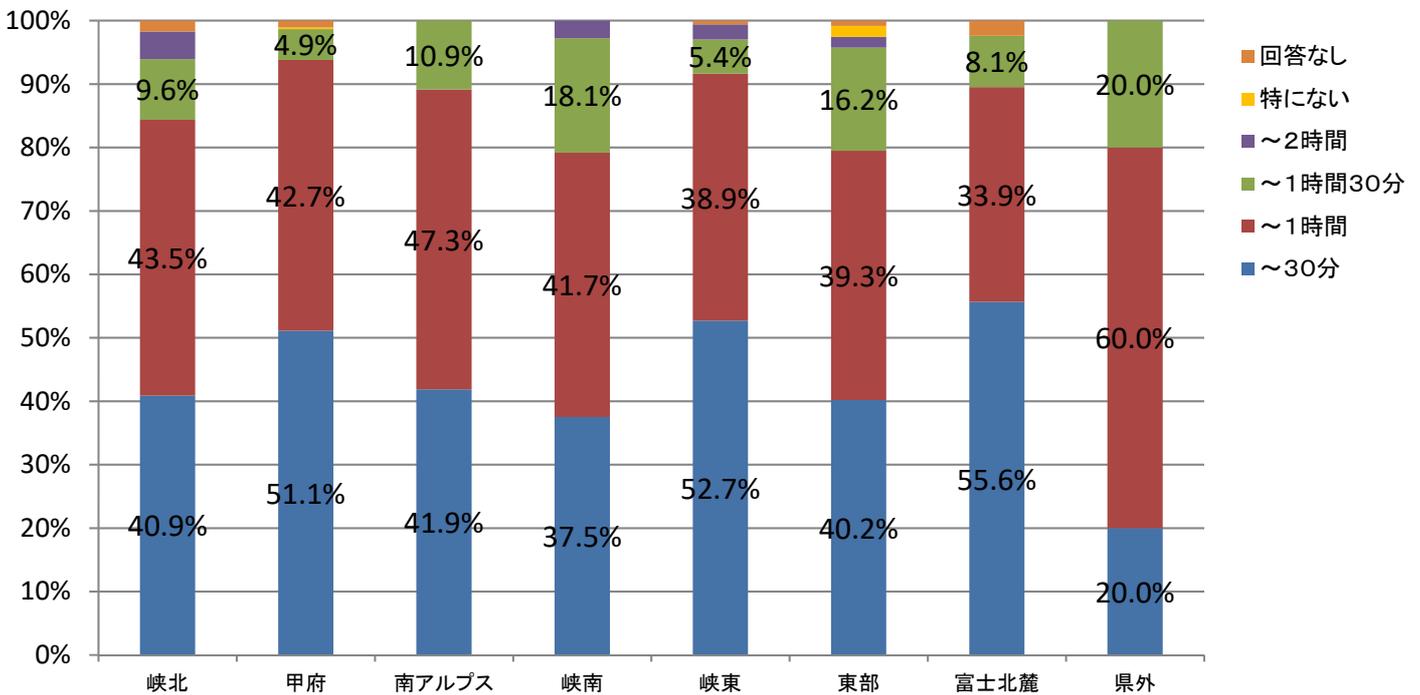
(質問) 現在の通学時間は片道どのくらいかかりますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 30分未満
- 2 30分～1時間未満
- 3 1時間～1時間30分未満
- 4 1時間30分～2時間未満
- 5 2時間以上

高1生徒



●居住地別の通学時間



高1生徒の通学時間では、1時間までの生徒が約9割と大半を占める。

地域別では、峡北地域、峡南地域、東部地域で通学時間が長い生徒が多くなる傾向が見られる。一方、甲府地域、峡東地域、富士北麓地域では30分以内の通学時間と回答した割合が比較的多い。

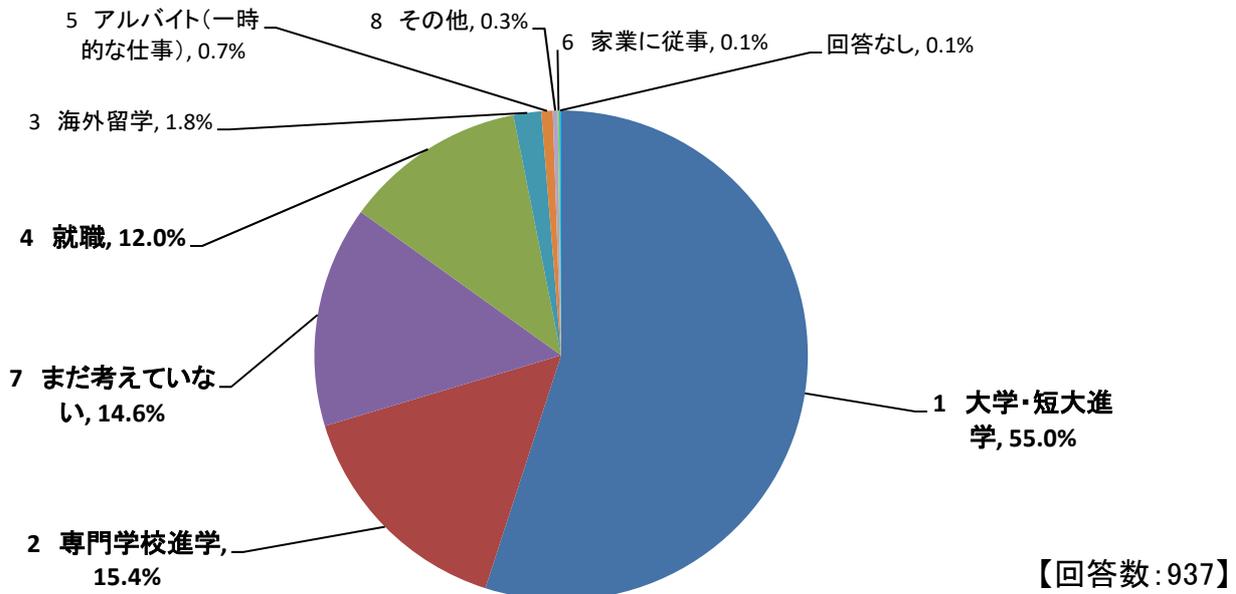
## ⑤ 高校卒業後の希望

【中3生徒】

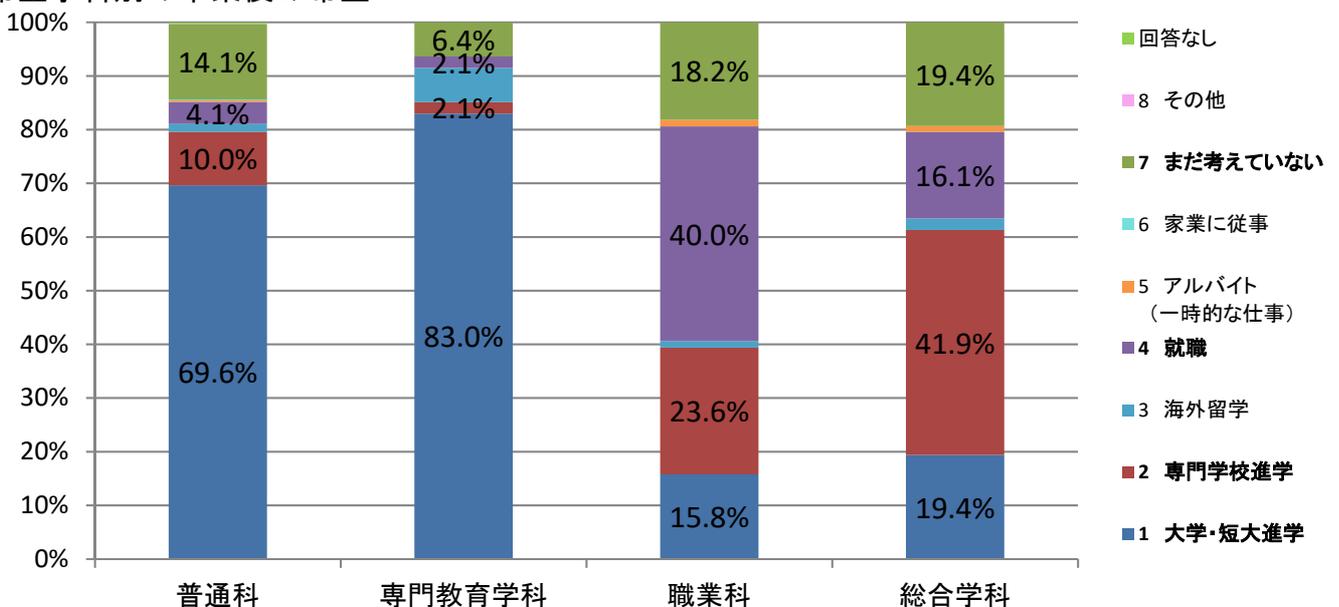
(質問) あなたは、高校卒業後、どのような進路を考えていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 大学・短大進学      2 専門学校進学      3 海外留学      4 就職  
5 アルバイト(一時的な仕事)      6 家業に従事      7 まだ考えていない      8 その他

中3生徒



### ●希望学科別の卒業後の希望



中3生徒全体としては、「大学・短大進学」が過半数を占める。また、「まだ考えていない」生徒も14.6%と相当数回答している。

希望学科別では、職業科希望者も「大学等」及び「専門学校進学」希望に約4割の回答がある。また、総合学科希望者は、他の学科希望者より「専門学校進学」の回答が多い。

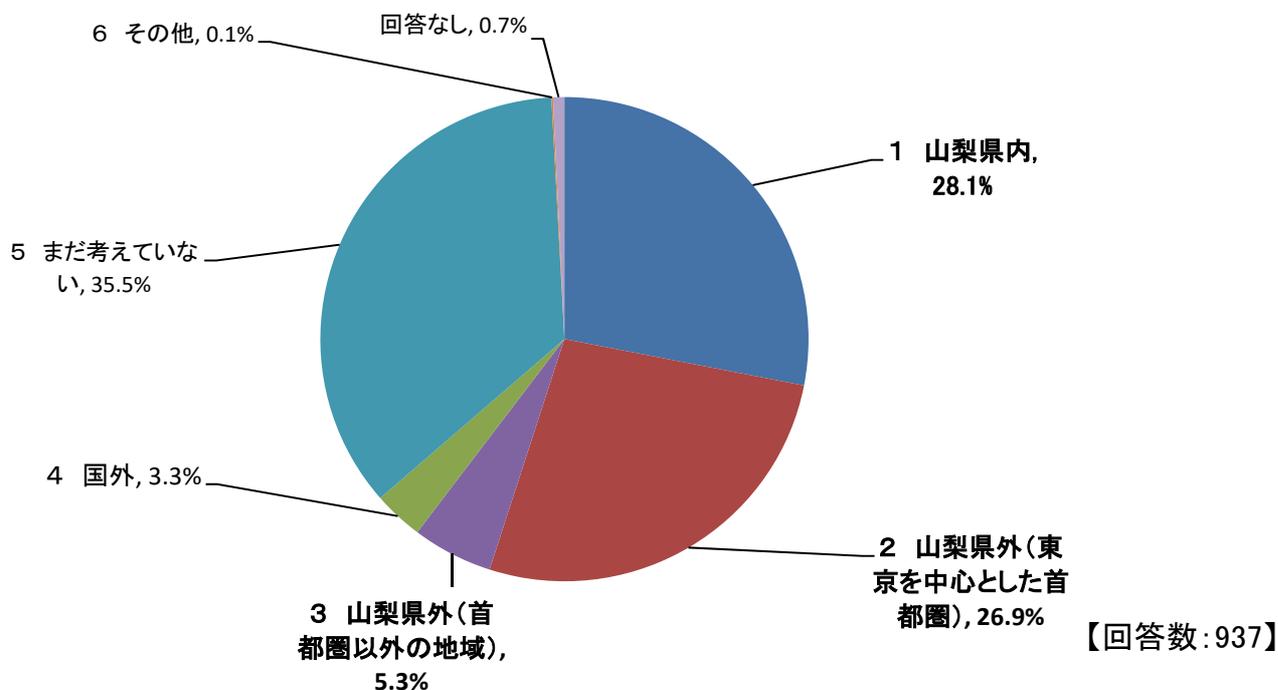
## ⑥ 高校卒業後・進学後の就職地の希望

【中3生徒・保護者、  
高1生徒・保護者】

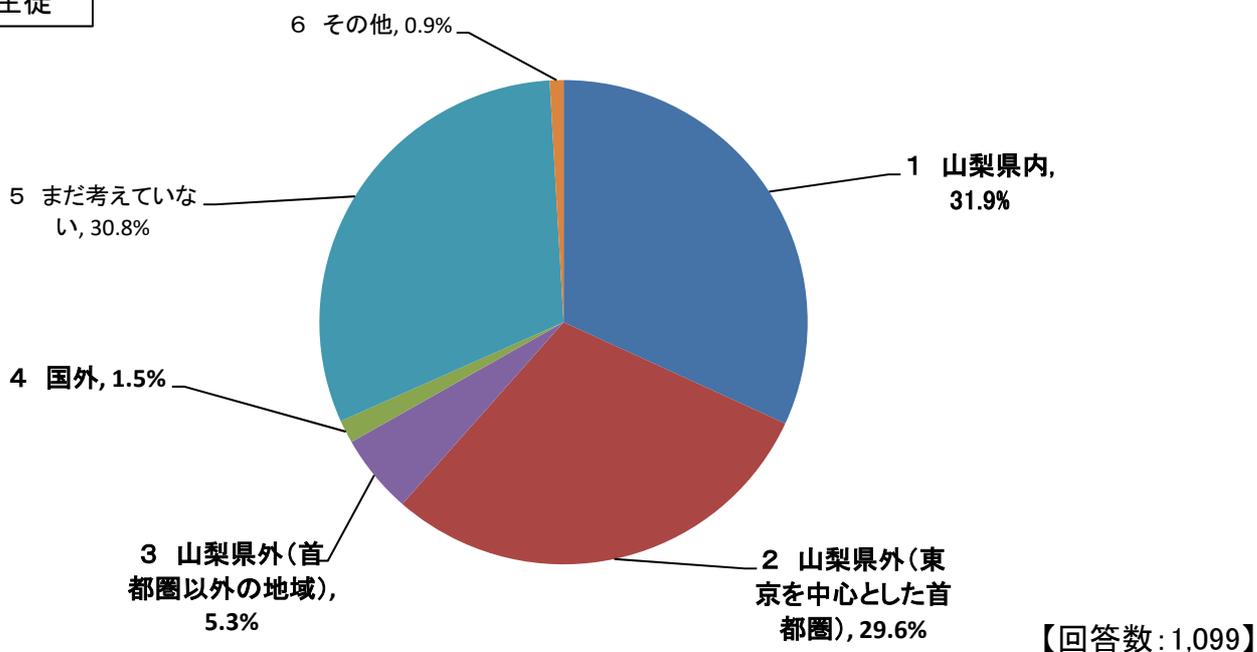
(質問) あなた(あなたのお子様)は、高校卒業後または高校卒業後進学した後に就職する場合、どこで仕事をしたいですか？(どこで仕事をして欲しいですか？)(次の中から1つ選んでください。)

- 1 山梨県内 2 山梨県外(東京を中心とした首都圏) 3 山梨県外(首都圏以外の地域)  
4 国外 5 まだ考えていない 6 その他

中3生徒



高1生徒

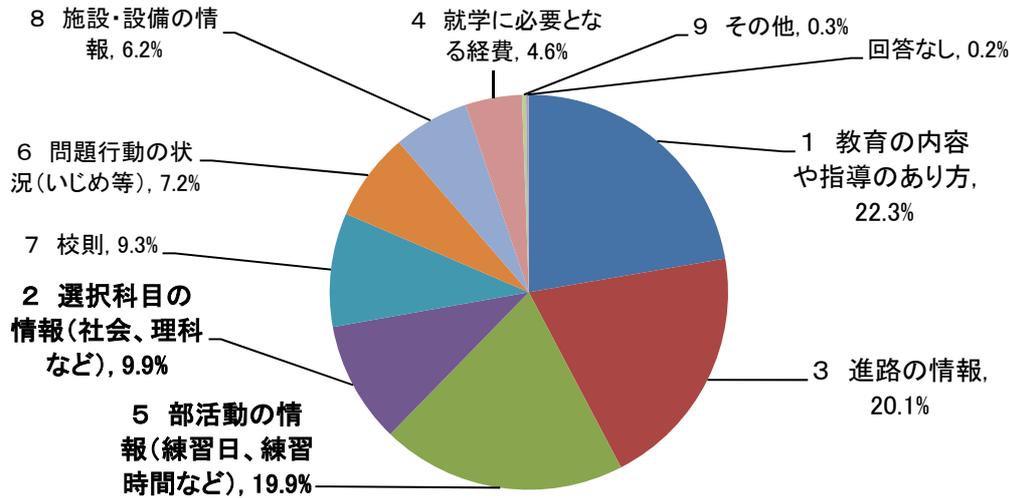


中3生徒、高1生徒ともに、「山梨県内」の回答が約3割、「山梨県外」「まだ考えていない」がそれぞれ3割以上となっている。

(質問) 高校から提供される情報の中で、より知りたいと思う情報は何ですか？(次の中から2つ以内で選んでください。)

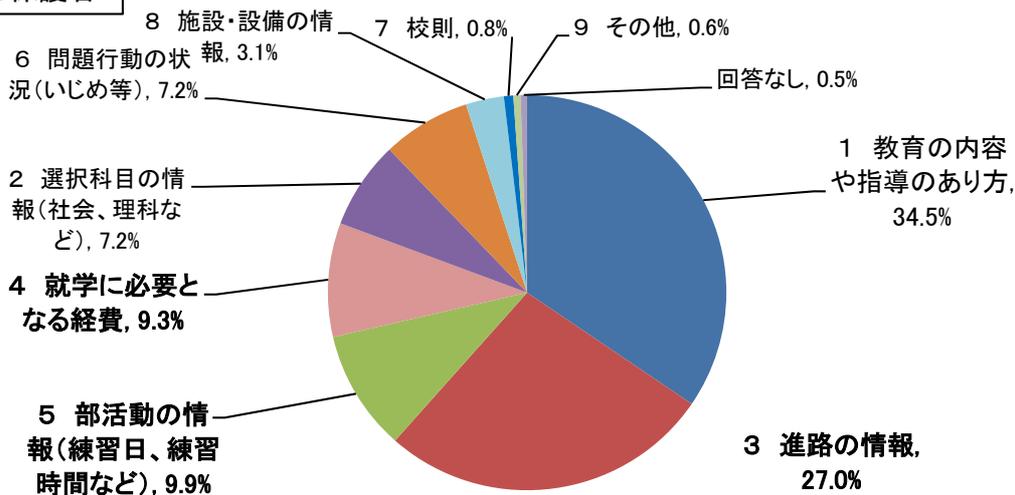
- 1 教育の内容や指導のあり方    2 選択科目の情報(社会、理科など)    3 進路の情報  
 4 就学に必要な経費    5 部活動の情報(練習日、練習時間など)  
 6 問題行動の状況(いじめ等)    7 校則    8 施設・設備の情報    9 その他

中3生徒



【回答数:937】

中3保護者



【回答数:903】

中3生徒・保護者ともに「教育の内容や指導のあり方」、「進路の情報」、「部活動の情報」、高校に関してもっとも知りたい情報である。

## ⑧ 高校の満足度

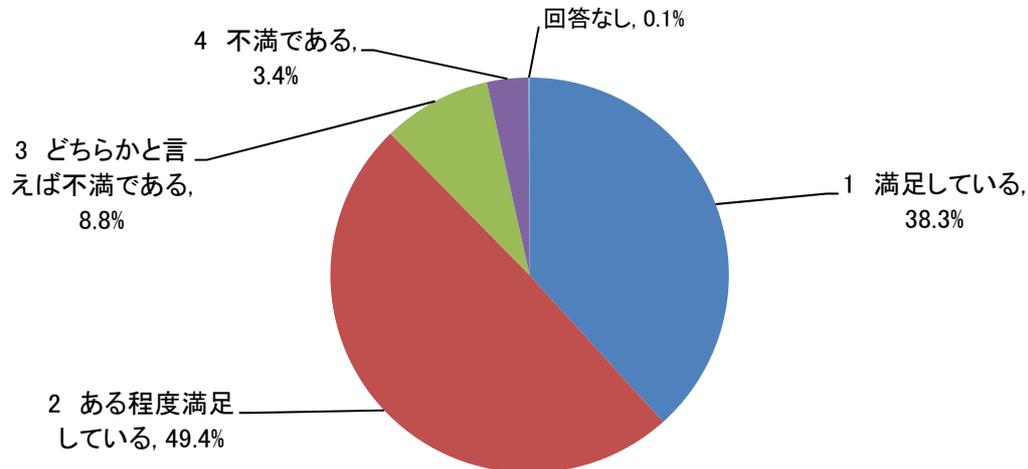
【高1生徒・保護者】

(質問) 在籍している高校について、満足していますか？

(次の中から1つ選んでください。)

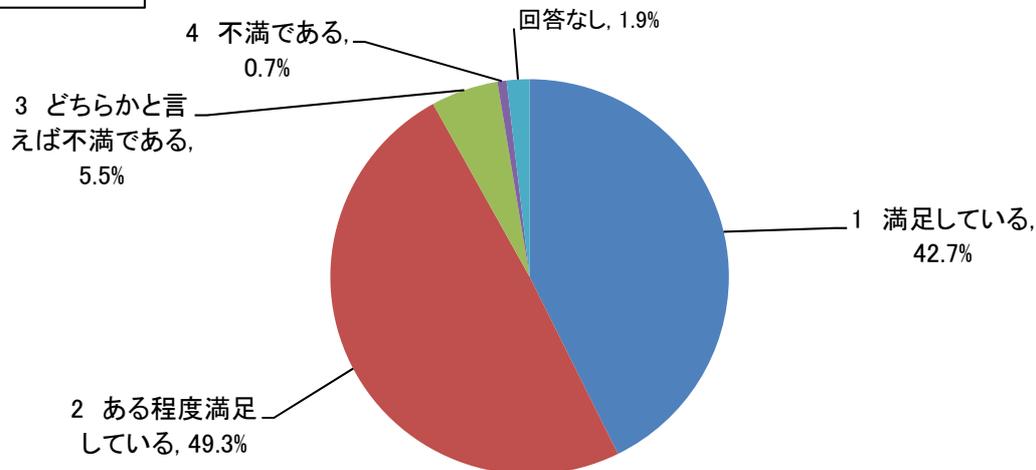
- 1 満足している 2 ある程度満足している 3 どちらかと言えば不満である 4 不満である

高1生徒



【回答数:1,099】

高1保護者

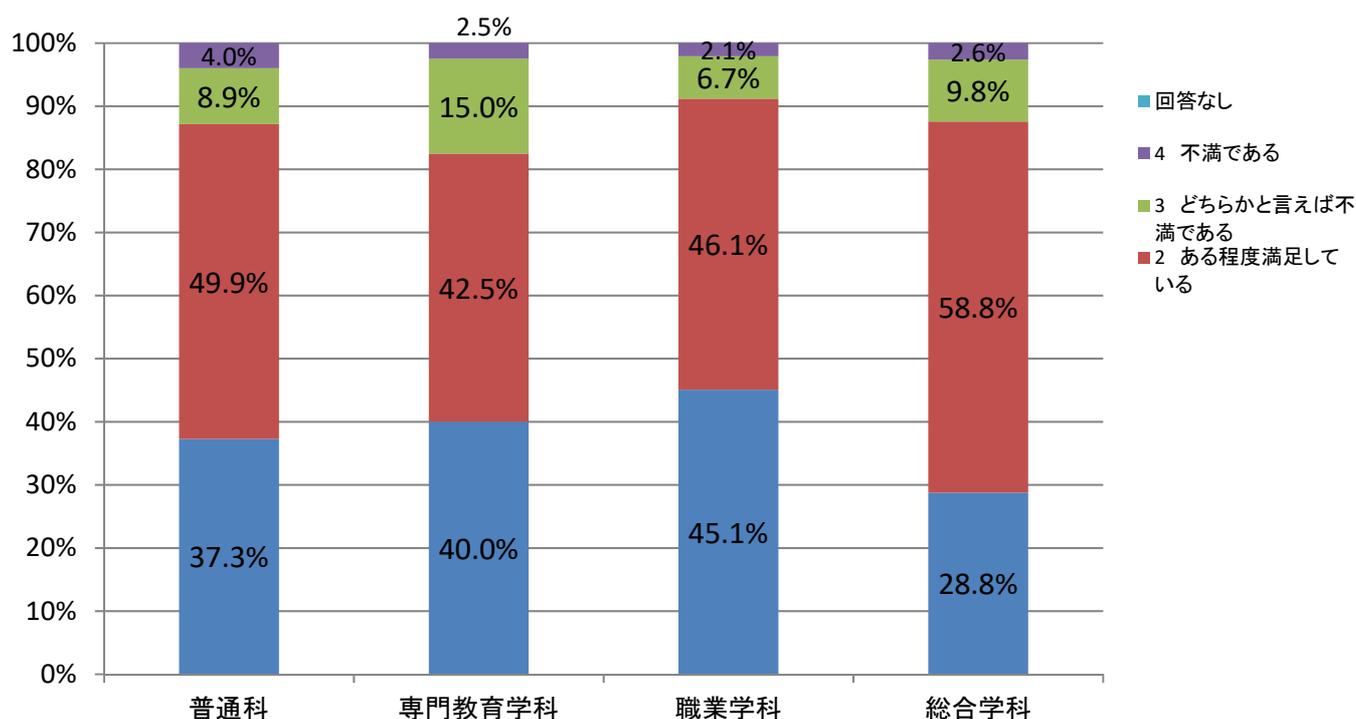


【回答数1,080】

高1生徒及び保護者ともに、「満足している」「ある程度満足している」が多数である。

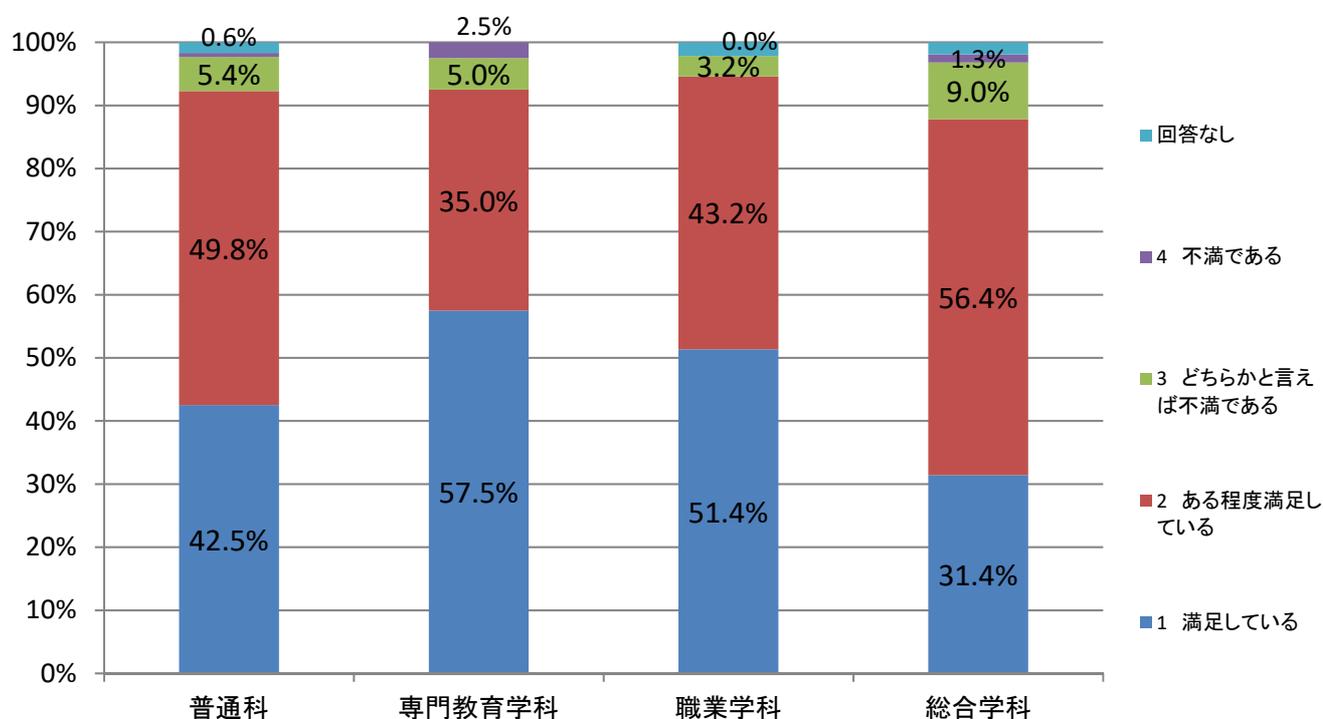
しかしながら、高1生徒では、「不満である」「どちらかと言えば不満である」が12%である。満足度を高める継続的な努力が必要である。

## ●学科別(高1生徒)



高1生徒の学科別の満足度では、職業学科で「満足」「ある程度満足」合わせて91.2%と満足度がもっとも高い。

## ●学科別(高1保護者)

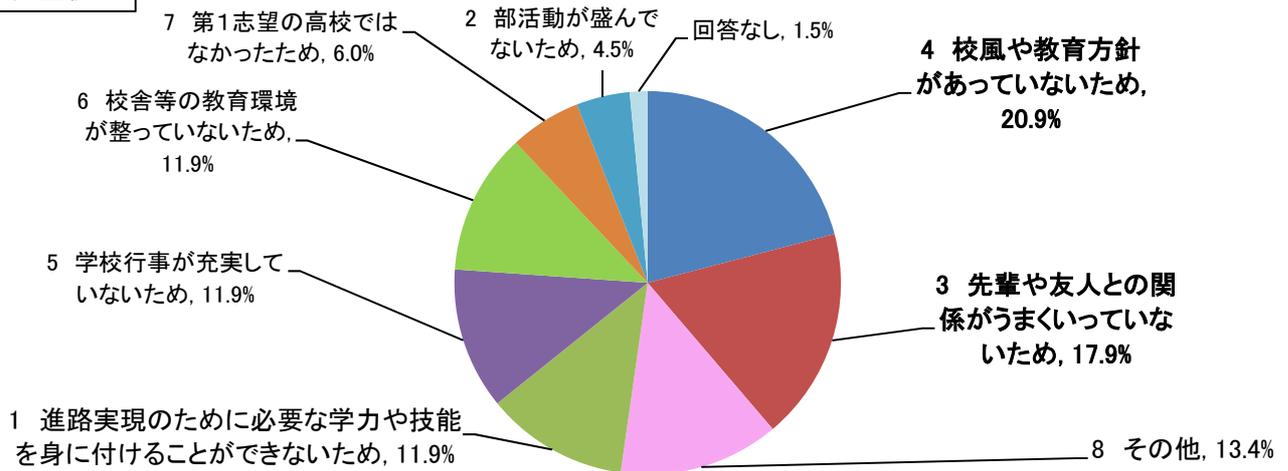


高1保護者では、普通科、専門教育学科、総合学科で、「満足」「ある程度満足」合わせて90%を超える。

(質問) 在籍している高校に「3 どちらかと言えば不満である」「4 不満である」と回答した人にお聞きします。答えた主な理由は何ですか？(次の中から1つ選んでください。)

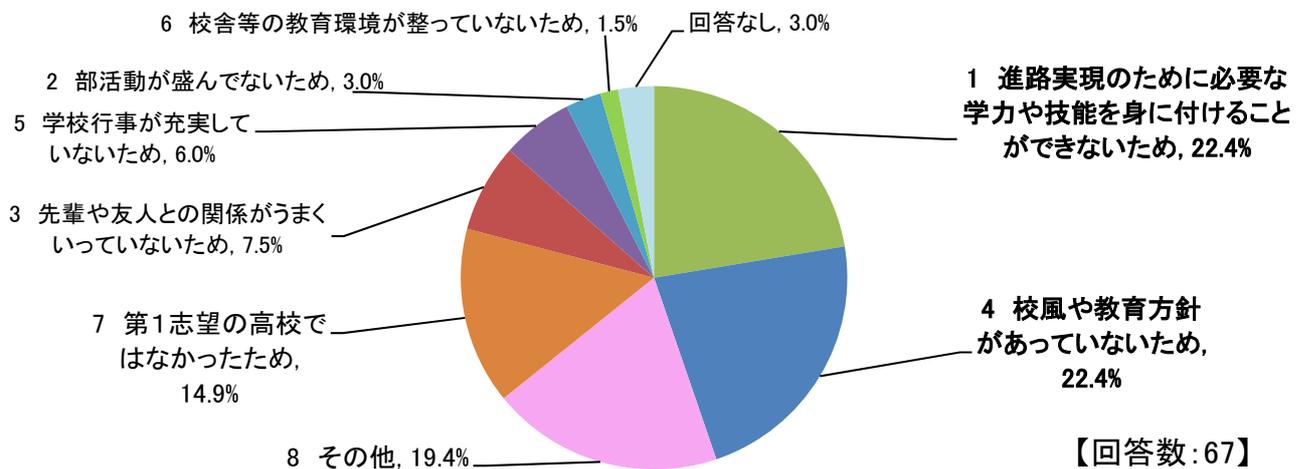
- 1 進路実現のために必要な学力や技能を身に付けることができないため
- 2 部活動が盛んでないため
- 3 先輩や友人との関係がうまくいっていないため
- 4 校風や教育方針があっていないため
- 5 学校行事が充実していないため
- 6 校舎等の教育環境が整っていないため
- 7 第1志望の高校ではなかったため
- 8 その他

高1生徒



【回答数:134】

高1保護者



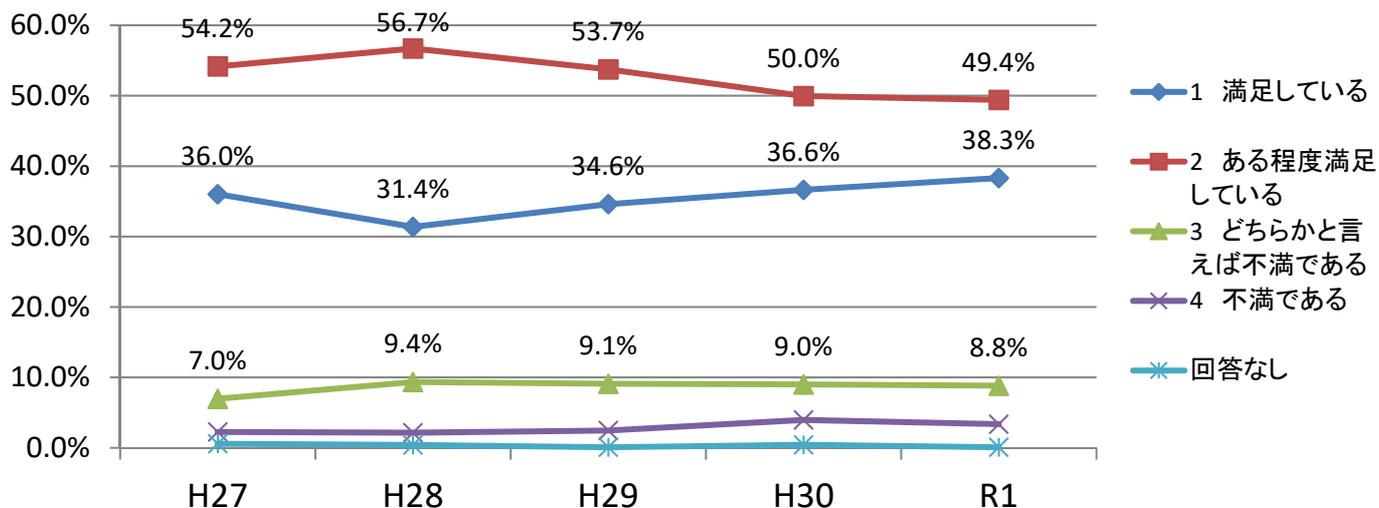
【回答数:67】

高1生徒及び保護者が学校に不満な理由については、高1生徒では、「校風や教育方針があっていないため」がもっとも多い。

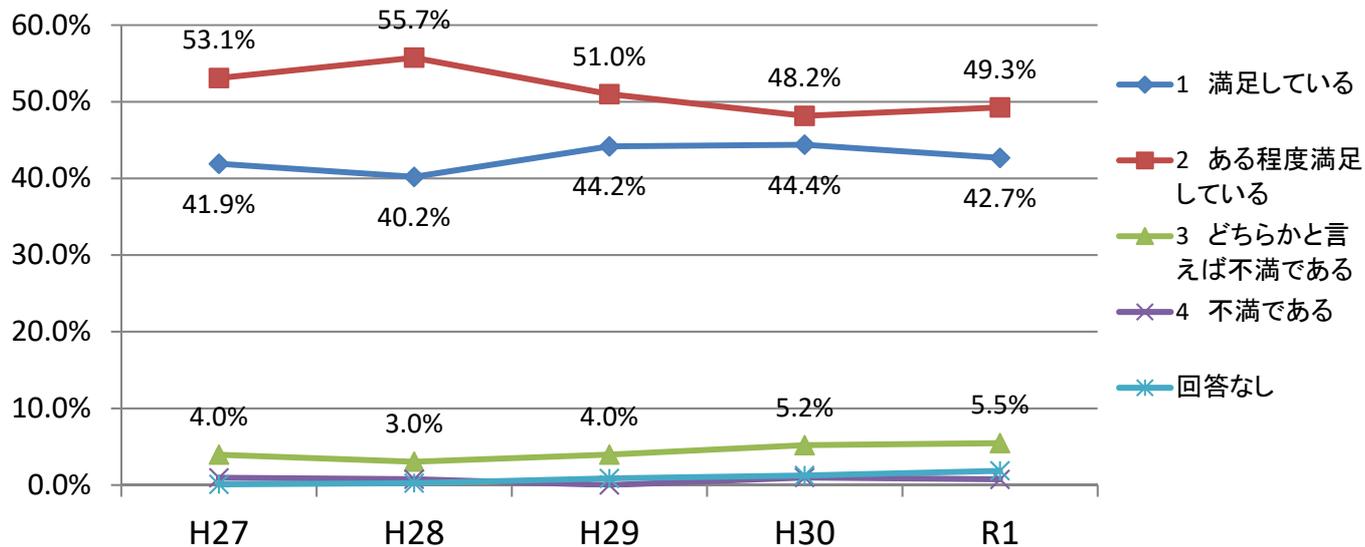
高1保護者では、「進路実現のために必要な学力や技能を身に付けることができないため」「校風や教育方針があっていないため」が多い。

●学校満足度の推移（H26～30調査）

高1生徒



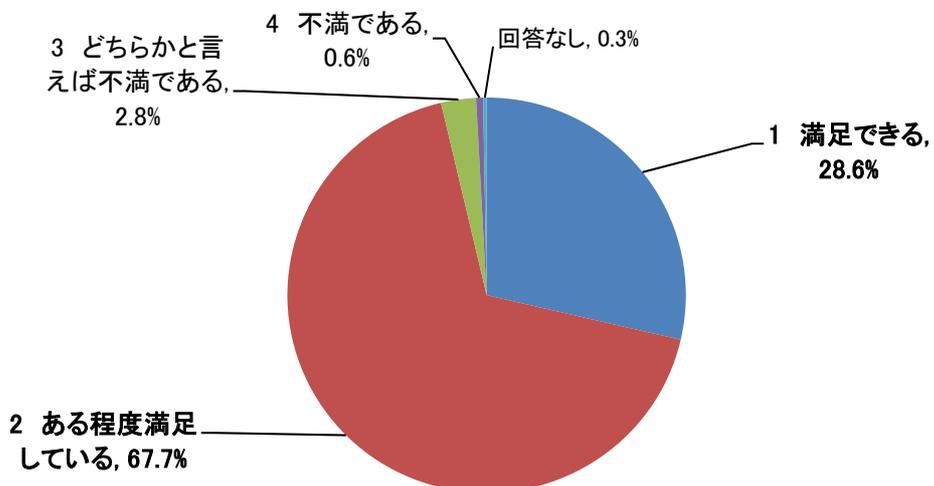
高1保護者



高校満足度の推移では、全体としてはおおむね良好な状態を維持している。

(質問) 現在の勤務校の地域にある公立高校(複数ある場合は全体として)の教育活動等についてどのように感じていますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 満足できる
- 2 どちらかと言えば満足できる
- 3 どちらかと言えば不満である
- 4 不満である



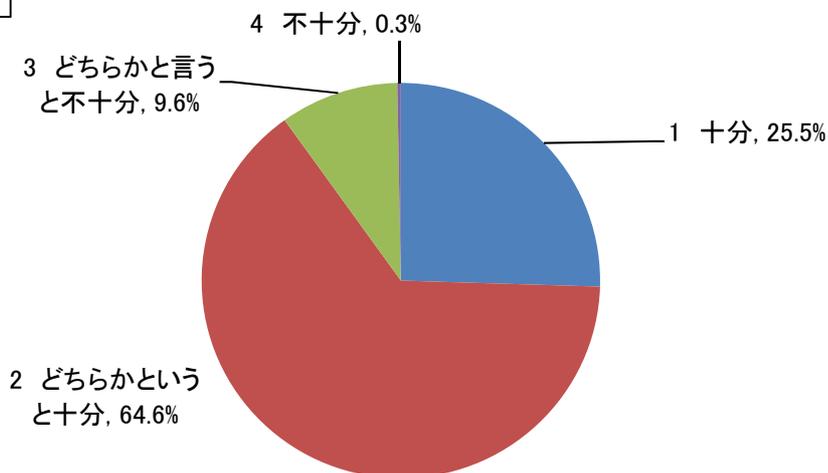
【回答数:353】

地域にある最寄りの県立高校の教育活動については、中学教員からは一定の評価を得ている。

(質問) 公立高校から、学校に関する情報(教育活動・学校行事・部活動など)の提供状況について  
 はどう思いますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかという  
 と十分 3 どちらかと言う  
 と不十分 4 不十分

中学教員

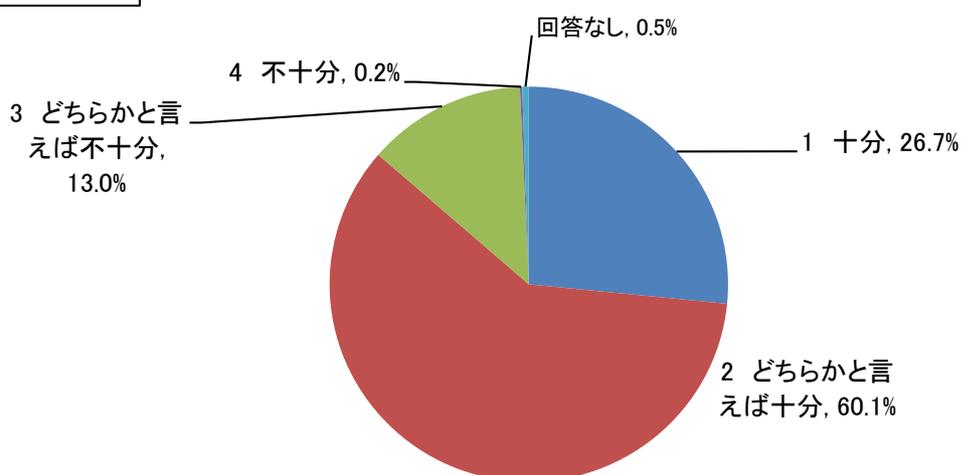


【回答数:353】

(質問) 現在勤務している高校において、中学生やその保護者への情報発信状況についてどう考  
 えますか？(次の中から1つ選んでください。)

- 1 十分 2 どちらかと言  
 えば十分 3 どちらかと言  
 えば不十分 4 不十分

高校教員



【回答数:539】

高校からの情報発信については、中学教員及び高校教員ともに、十分ではない方向の回答が一定割合ある状況である。

各県立高校においては、さらなる情報発信や情報開示を推進していく必要がある。

## 4 魅力ある高校づくりについて

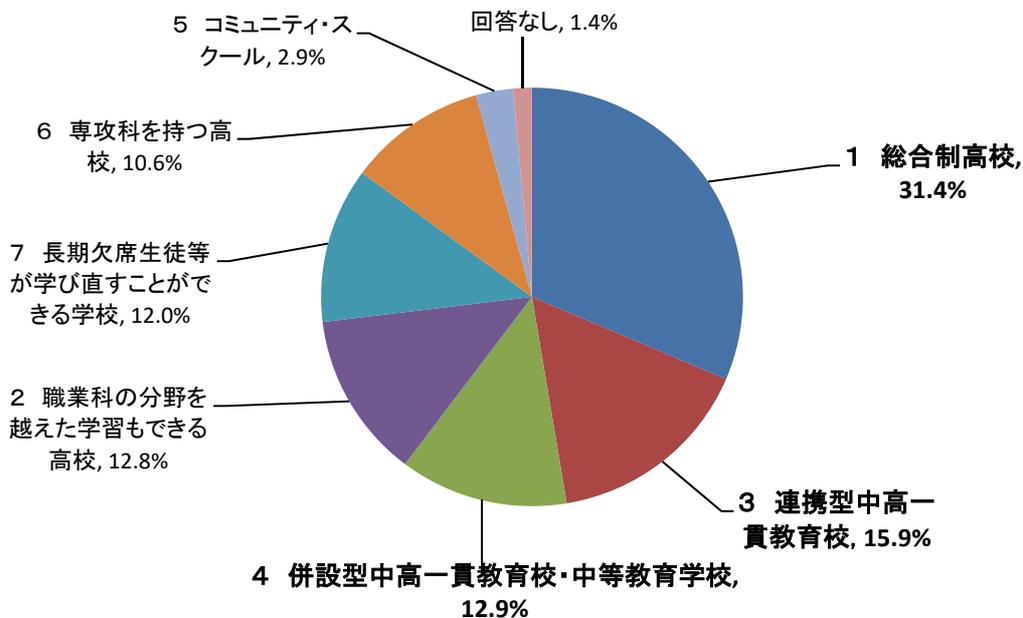
今後の魅力ある高校づくりに関わる諸項目について、考え方を尋ねた。

### ① 今後必要となる学校について

【保護者・教員】

(質問) 今後必要となる県立の学校のタイプ(種類)はどのようなものと考えますか?(次の中から1つを選んでください。)

- 1 総合制高校(一つの高校の中に普通科と職業科や総合学科を持つ)
- 2 一つの高校に農業・工業・商業の各学科があり、分野を越えた学習もできる高校
- 3 連携型中高一貫教育校(市町村立中学校と県立高校間で連携して教育活動を行う)
- 4 併設型中高一貫教育校・中等教育学校(私立の中高一貫校に見られるタイプの6年間一貫した教育を行う)
- 5 コミュニティ・スクール(地域の意見を反映した高校運営を行う)
- 6 専攻科を持つ高校(職業高校卒業後、1~2年間専門的スキル等を高める課程)
- 7 長期欠席生徒等が学び直すことができる学校



【回答数:2,873】

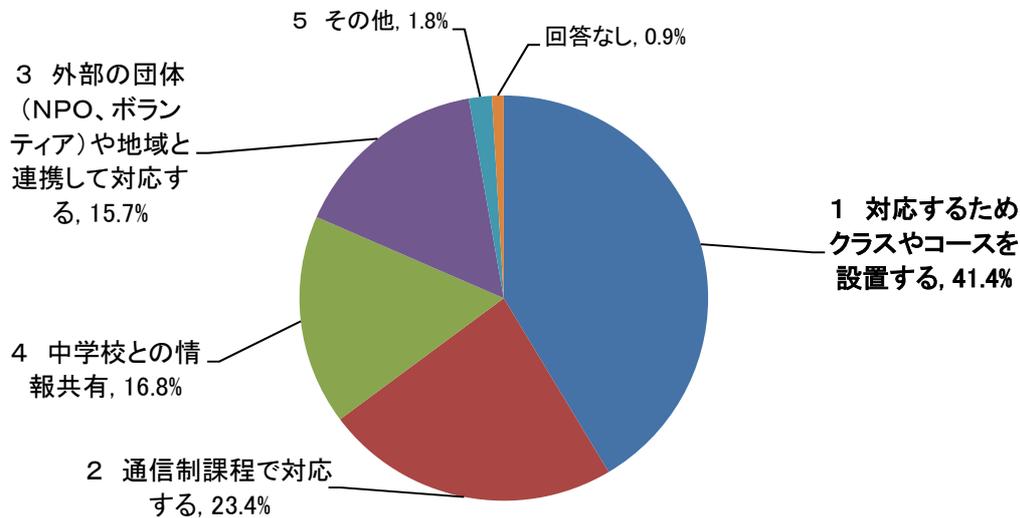
今後必要となる学校の種類としては、「1 総合制高校」の回答がもっとも多い。次いで、「連携型中高一貫教育校」「併設型中高一貫教育校・中央教育学校」の回答が多い。

## ② 多様なニーズへの対応

【保護者・教員】

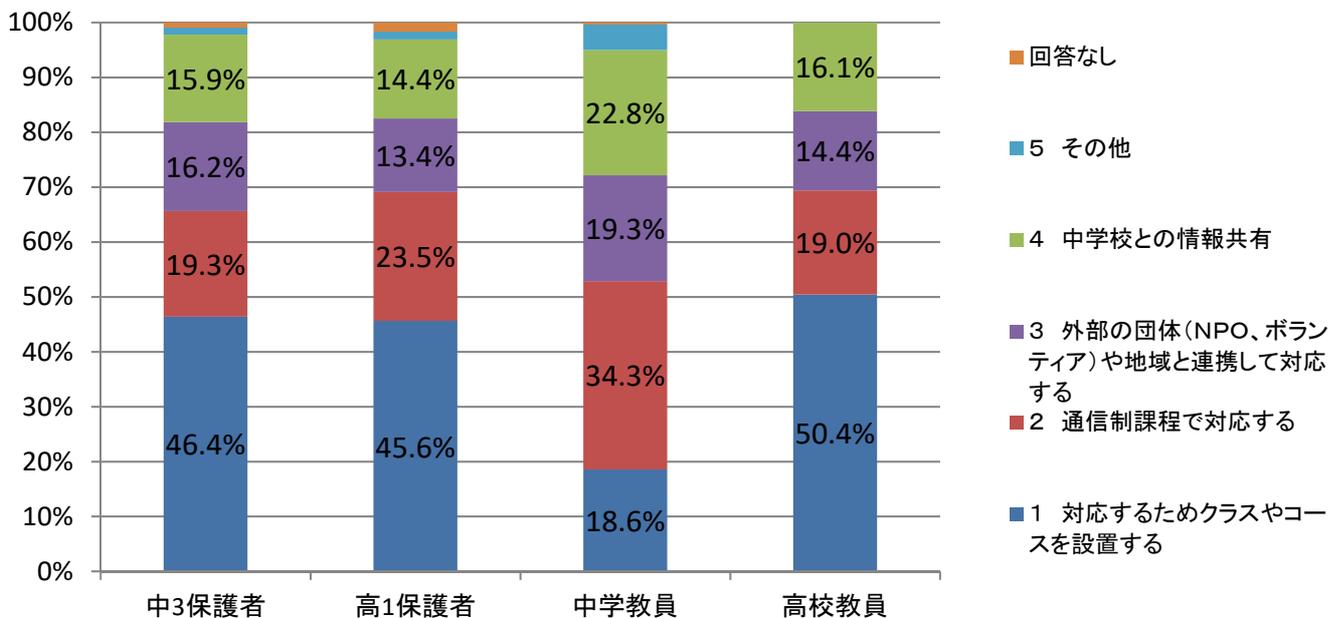
(質問) 中学校時代の不登校や長期欠席、学力不足など多様化した生徒のニーズに応えるための高校の対応はどのようなものが良いと考えますか？ (次の中から1つ選んでください。)

- 1 対応するためクラスやコースを設置する
- 2 通信制課程で対応する
- 3 外部の団体(NPO、ボランティア)や地域と連携して対応する
- 4 中学校との情報共有
- 5 その他



【回答数:2,875】

### ●調査対象者別



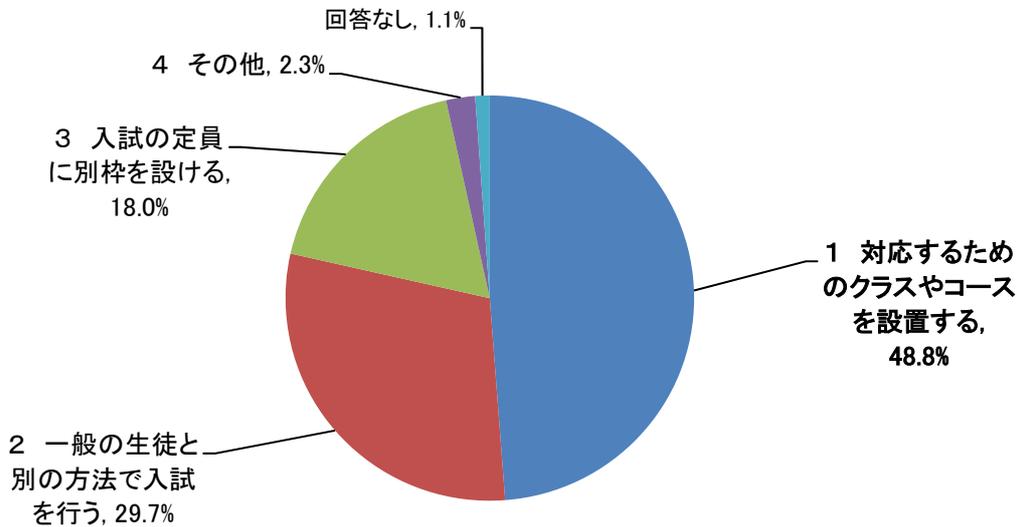
多様なニーズの対応については、全体では「対応するためクラス・コース設置」が多い。  
調査対象者別では、中学教員で「通信制での対応」が多い。

### ③ 日本語が苦手な外国籍生徒への対応 【保護者・教員】

(質問) 日本語が苦手な外国籍生徒の高校進学ニーズに応えるための高校の対応はどのようなものが良いと考えますか？

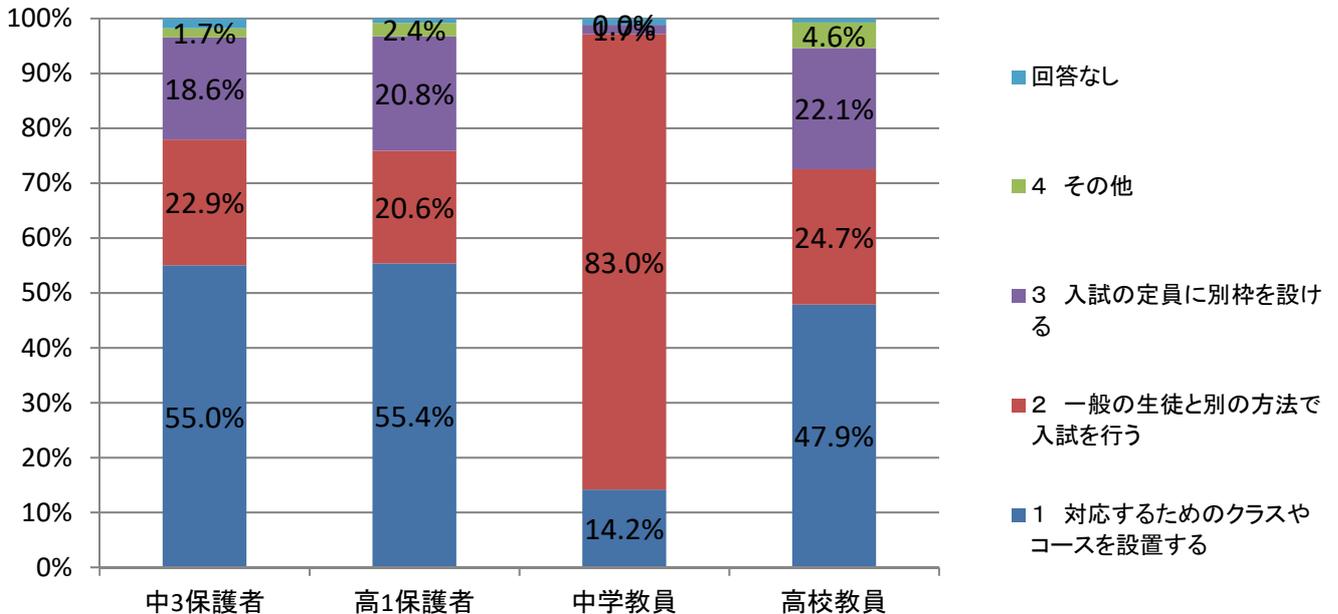
(次の中から1つ選んでください。)

- 1 対応するためのクラスやコースを設置する
- 2 一般の生徒と別の方法で入試を行う
- 3 入試の定員に別枠を設ける
- 4 その他



【回答数:2,875】

#### ●調査対象者別



多様なニーズの対応については、全体では「対応するためクラス・コース設置」が多い。調査対象者別では、中学教員で「一般の生徒と別の方法で入試を行う」が多い。

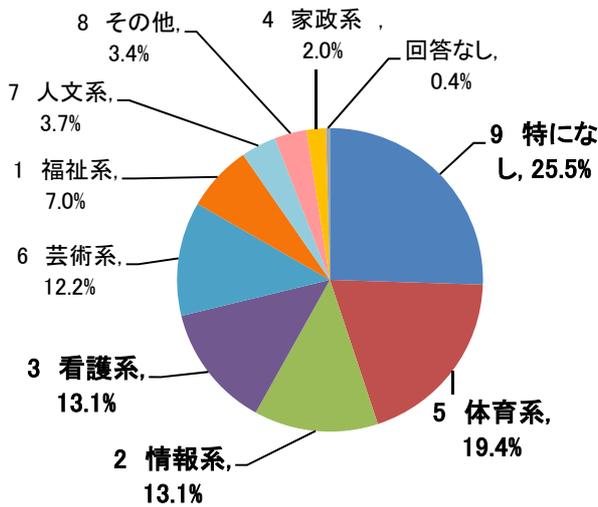
### ③ 設置を希望する学科

【中3生徒・保護者、教員】

(質問) 山梨県の公立高校にあつたら良いと思う分野の学科・コースはありますか？(次の中から1つ選んでください。)

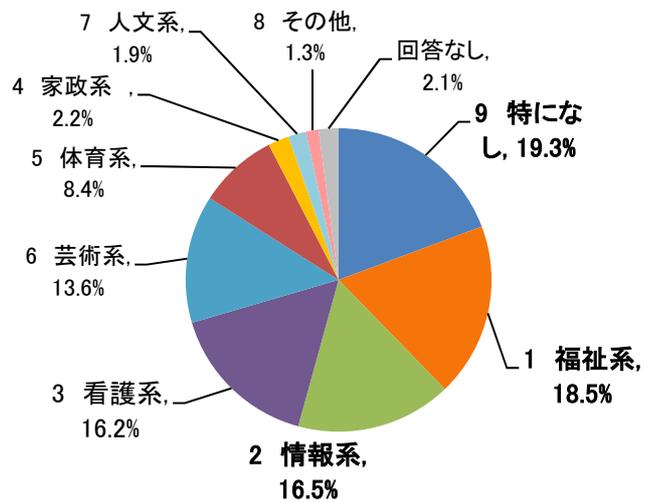
- 1 福祉系    2 情報系    3 看護系    4 家政系    5 体育系  
6 芸術系    7 人文系    8 その他    9 特になし

中3生徒



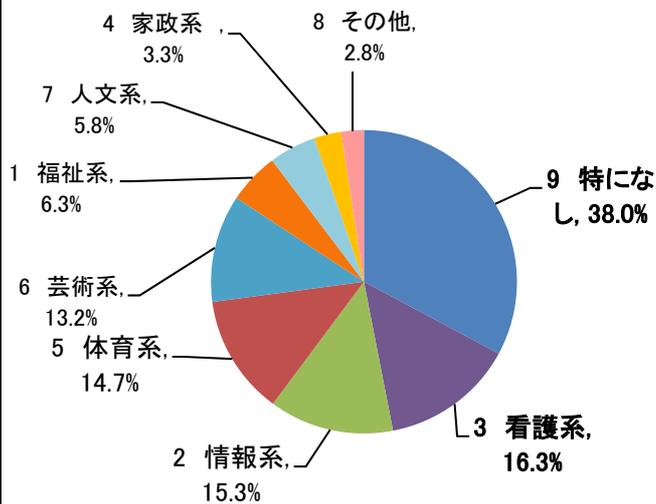
【回答数:937】

中3保護者



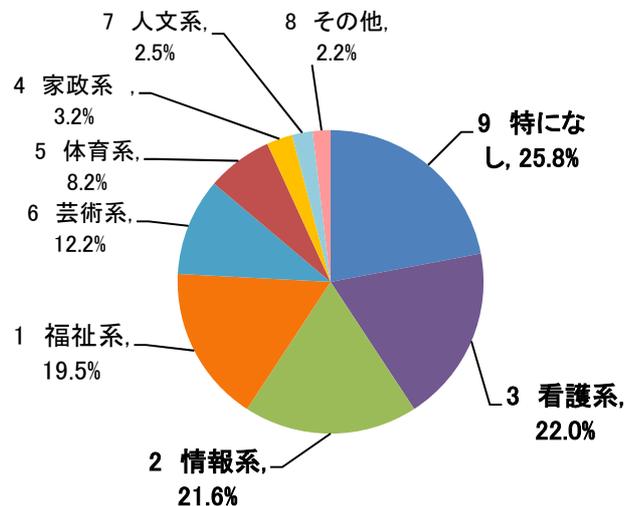
【回答数:903】

高1生徒



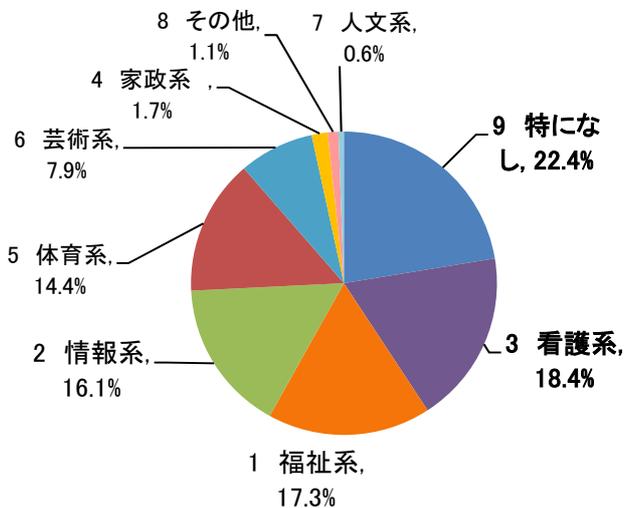
【回答数:1,099】

高1保護者



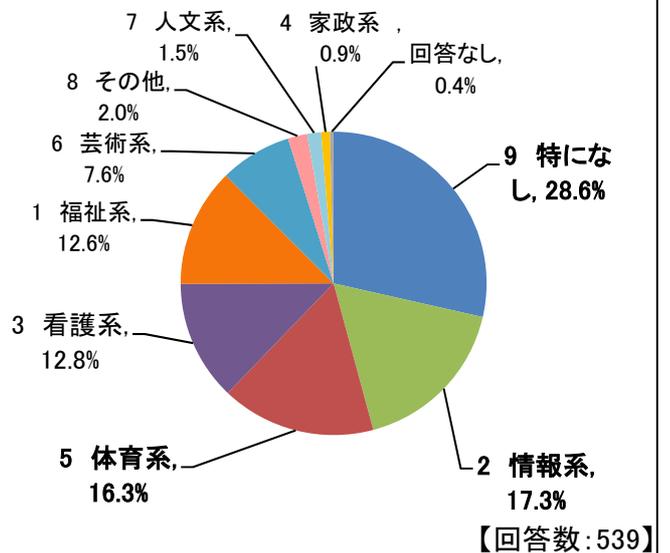
【回答数:1,080】

中学教員



【回答数:353】

高校教員



【回答数:539】

中3生徒では、体育系学科、情報系学科、看護系学科の回答が多い。中3保護者では福祉系学科、情報系学科、看護系学科の回答が多い。

高1生徒では、看護系学科、情報系学科、体育系学科の回答が多い。高1保護者では、看護系学科、情報系学科、福祉系学科の回答が多い。

中学教員では、看護系学科や福祉系学科、高校教員では、情報系学科、体育系学科の回答が多い状況である。

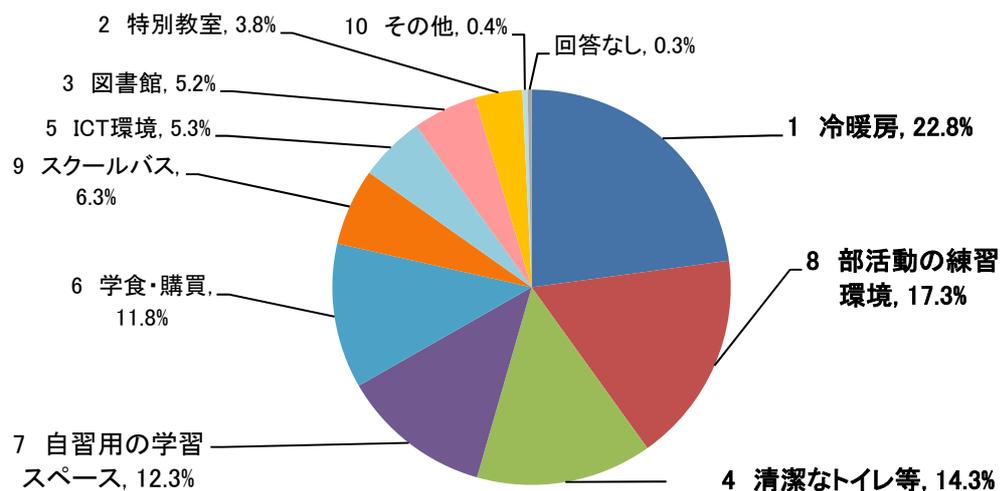
## ④ 公立高校に求める施設や設備

【生徒・保護者】

(質問) 公立高校にどのような施設・設備の充実を求めますか？最も優先するものを1つ選んでください。(次の中から1つ選んでください。)

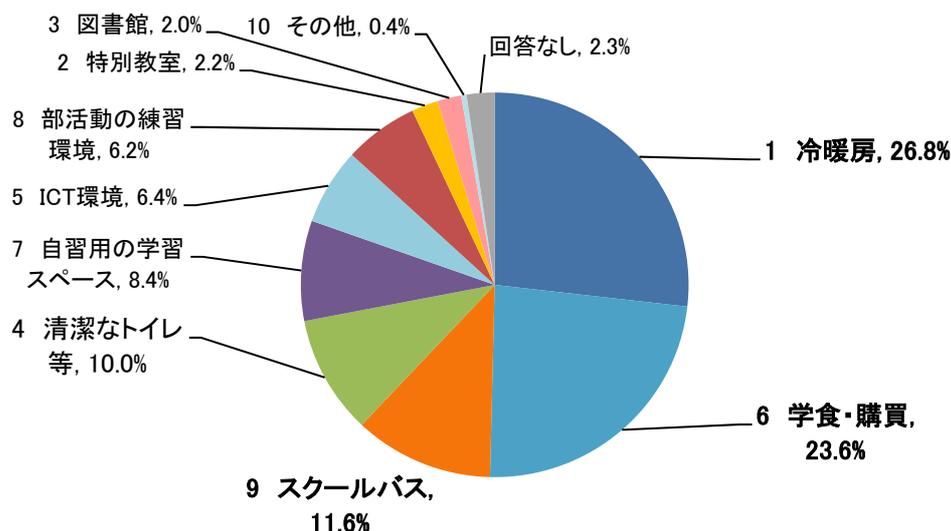
- 1 冷暖房(エアコンなど) 2 特別教室(音楽室、実習室など) 3 図書館 4 清潔なトイレ等  
5 ICT環境 6 学食・購買 7 自習用の学習スペース 8 部活動の練習環境  
9 スクールバス 10 その他

### 中3生徒



【回答数:937】

### 中3保護者

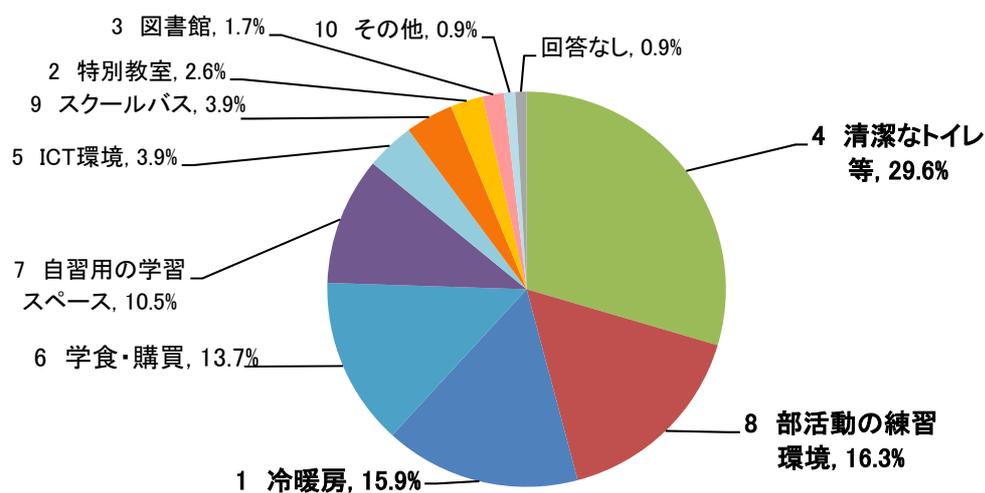


【回答数:903】

中3生徒及び保護者が公立高校に求める施設や設備として、「冷暖房」の回答が共通して多い。

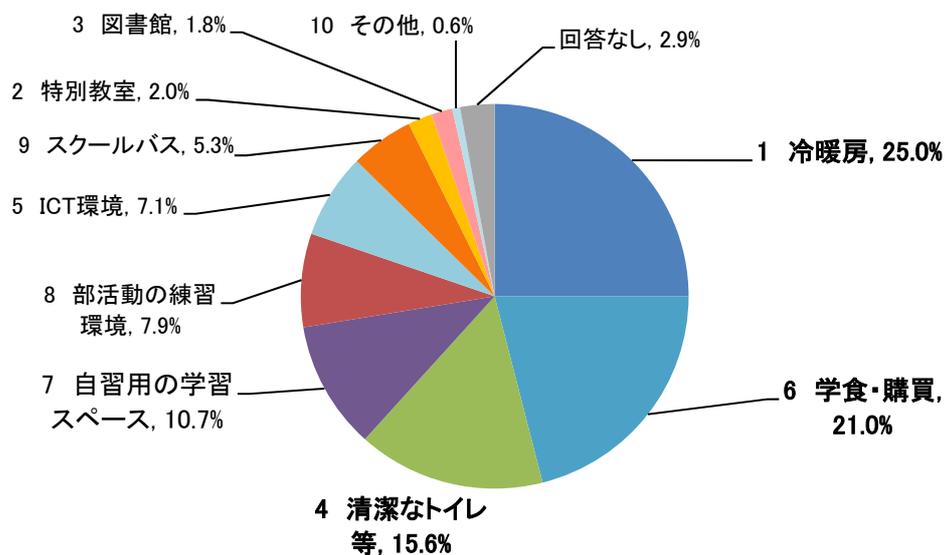
それ以外の回答では、中3生徒では「部活動の練習環境」の回答が多く、中3保護者では「学食・購買」の回答が多い。

### 高1生徒



【回答数:1,099】

### 高1保護者



【回答数:1,080】

高1生徒では「清潔なトイレ等」「部活動の練習環境」の回答が多く、高1保護者では「冷暖房」「学食・購買」の回答が多い。

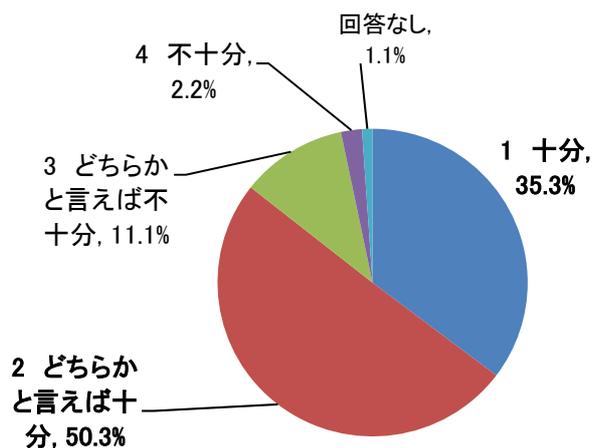
## ⑤ 高校の地域との関わり

【高1生徒・保護者】

(質問) 学校の教育活動や、学校行事、部活動などにおいて、地域との関わりはどう感じますか？  
(次の中から1つ選んでください。)

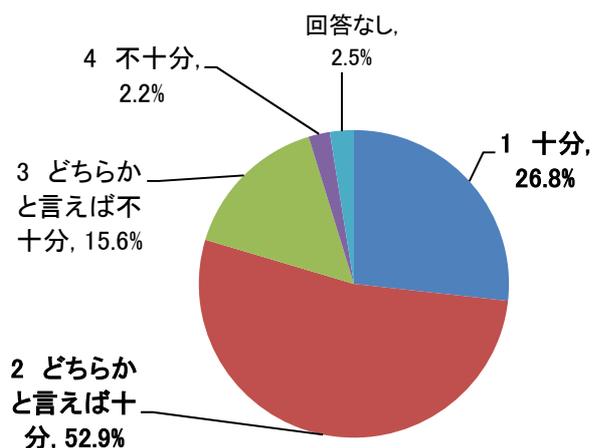
1 十分 2 どちらかと言えば十分 3 どちらかと言えば不十分 4 不十分

高1生徒



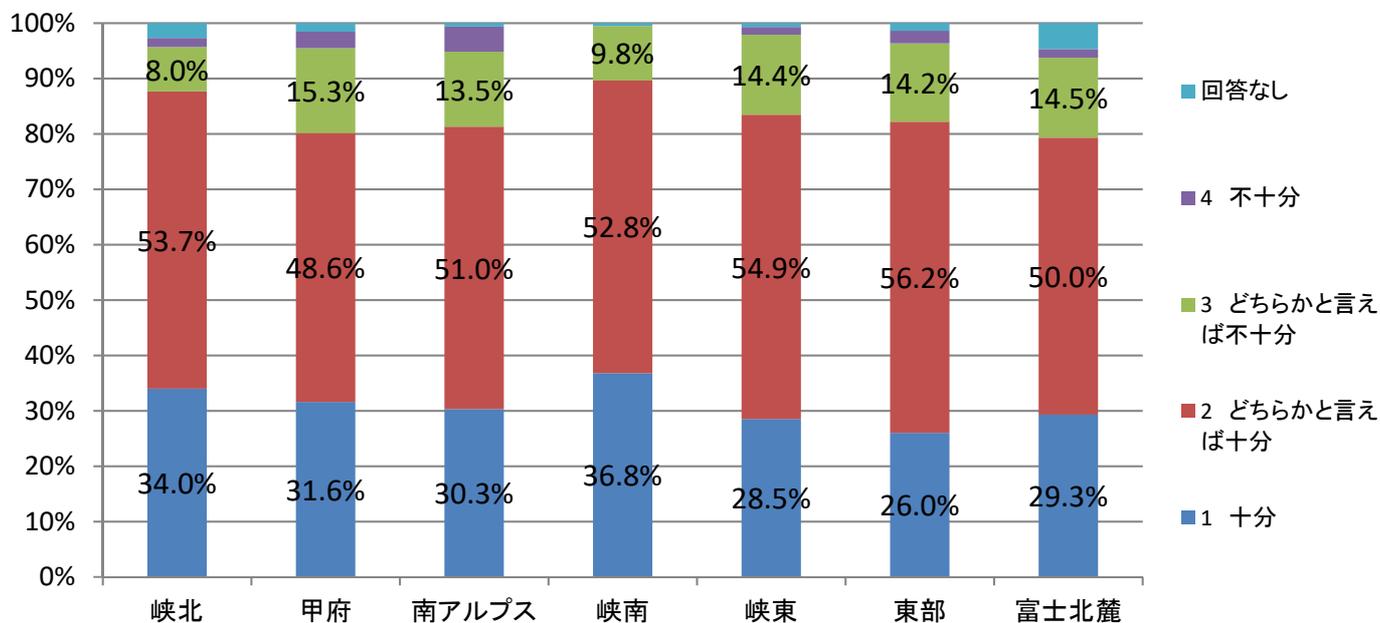
【回答数:1,099】

高1保護者



【回答数:1,080】

### ●地域別(高1生徒・高1保護者)



高校とその地域との関わりについては、良好である向きの回答が大半であった。

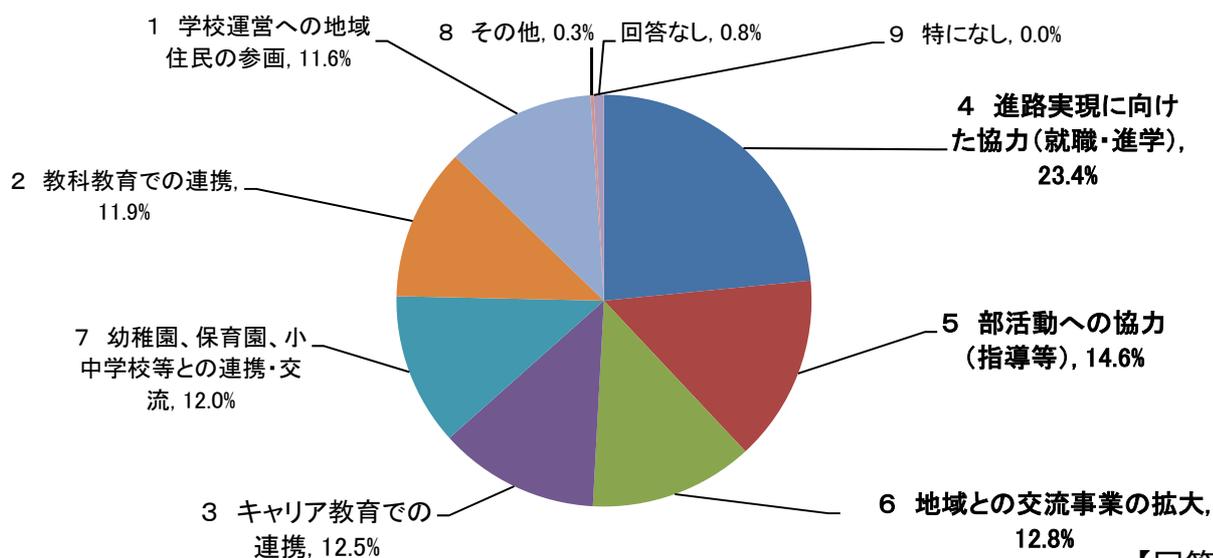
地域別では、峡北地域と峡南地域において他の地域より地域との関わりが良好な印象を持たれている。

## ⑥ 今後の地域との連携・協働

【全調査対象者】

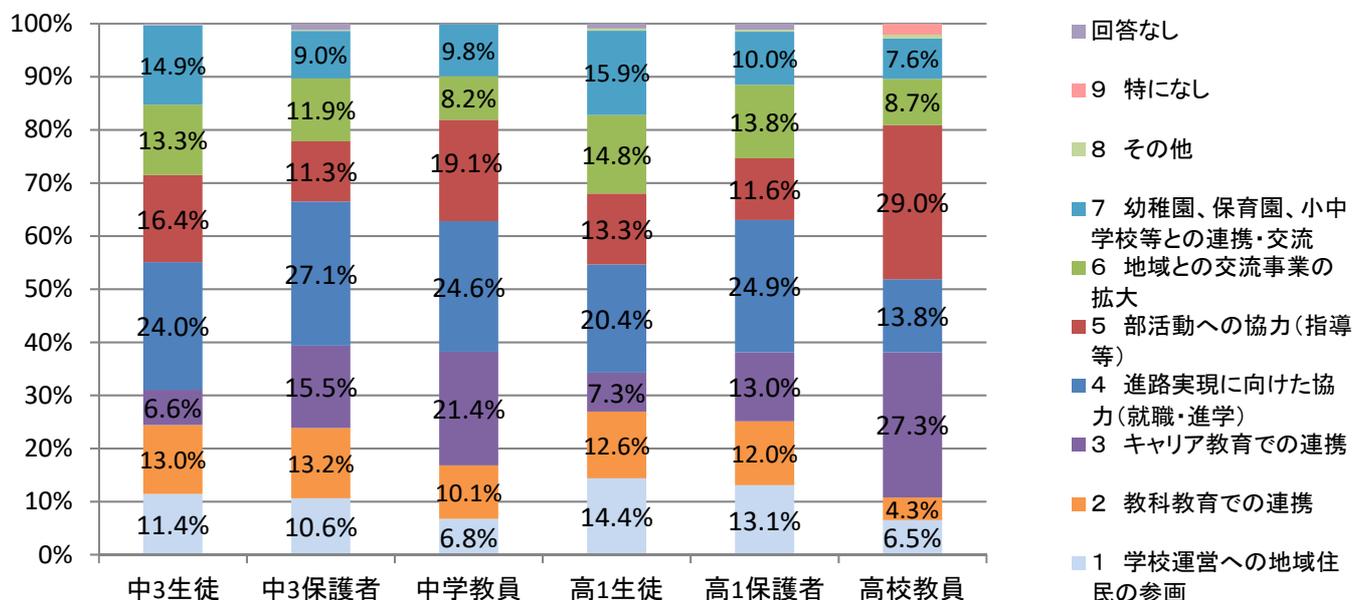
(質問) 学校の学習活動や、学校行事、部活動などにおいて、地域とどのように関わっていくと良いと考えますか？(次の中から2つ選んでください。)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1 学校運営への地域住民の参画        | 2 教科教育での連携          |
| 3 キャリア教育での連携           | 4 進路実現に向けた協力(就職・進学) |
| 5 部活動への協力(指導等)         | 6 地域との交流事業の拡大       |
| 7 幼稚園、保育園、小中学校等との連携・交流 |                     |
| 8 その他                  |                     |



【回答数:4,911】

### ●調査対象者別



全体では、「進路実現に向けた協力」、「部活動への協力」の回答が多い。

調査対象者別では、教員で「キャリア教育での連携」の回答が他の回答者より多い。